

最終報告書

新地域連携可能性調査（ロシア）

株式会社 野村総合研究所

アーバンイノベーションコンサルティング部
モスクワ支店

2021年10月

NRI

Share the Next Values!



1. 連携有望候補地域の選定
 - 1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法
 - 2) 連携検討候補13地域の抽出
 - 3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査
 - 1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査
 - 2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価

3. 連携有望候補地域の結論

1. 連携有望候補地域の選定

1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法

2) 連携検討候補13地域の抽出

3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査

1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査

2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価

3. 連携有望候補地域の結論

連携の要件（確認）

連携による期待効果と山梨県の特徴

- 連携における期待効果：「県内経済の更なる活性化に資する効果」
「山梨県の強みを活かした分野における連携が期待できる」
「山梨県の持つ特性との比較により、連携によって県の発展につながる効果」
 - 県産品の販路拡大
 - インバウンド観光の促進
 - 先端技術：水素・燃料電池分野での連携（産業の親和性）
 - 先端技術：医療機器分野での連携（産業の親和性）
 - その他、産業での連携（産業の親和性）
 - グローバル人材の確保・育成（人材の親和性）

- 山梨県の特徴（2040年までの山梨県総合計画からのキーワード）
 - 戦略1）産業育成・振興・成長産業化：観光産業、農業、林業、地場産業
 - 戦略2）人材育成：個性を生かした教育、産業を支える人材、文化芸術やスポーツの振興
 - 戦略3）環境整備：個性の発揮、子育て支援、地域への人の流れ
 - 戦略4）保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会：感染症対策、保険医療確保、福祉充実、持続可能な社会
 - 戦略5）インフラ：交通・通信インフラ充実、災害、コミュニティ
 - リニア中央新幹線の開業（2030年）
 - 民間企業とのパートナーシップ
 - 在留外国人の増加（2015年以降増加傾向にあり、2018年には16,000人）
 - 外国人旅客の増加（宿泊者数：2011年～2017年の6年間で6倍）
 - 基幹産業：製造業（生産用機械や電気機械）、観光業（宿泊業などの対個人サービス）
 - 地場産業：貴金属・ジュエリー、ワイン、織物に加え伝統産業（印章、和紙）
 - 農業生産額は900～1,000億円で、果実が全体の過半を占め、野菜、畜産物と続く。

連携の要件（確認）：再掲参考

デスクトップ調査の結果から総合評価リストにより候補地域の妥当性を可視化する

- 総合評価リストとデスクトップ調査における各項目は以下の通り。なお、それぞれの項目については山梨県と協議の上で最終決定する。

【総合評価リストにおける各項目の評価基準】

- ① 観光・文化...対象州における国内旅行者数を評価基準とする。
- ② 産業の親和性...ロシア連邦、ロシア各州による公開情報、在ロシア日本大使館、JETRO並びに在ロシア日本センターが公開している情報、元に山梨県の主要産業と類似する産業を対象州が有するか否かを評価基準とする。
- ③ 教育...対象州における主な大学数を評価基準とする。
- ④ 実現可能性...対象州において、姉妹都市や日本企業誘致等を検討する動きがデスクトップリサーチにより確認できるか否かを評価基準とする。

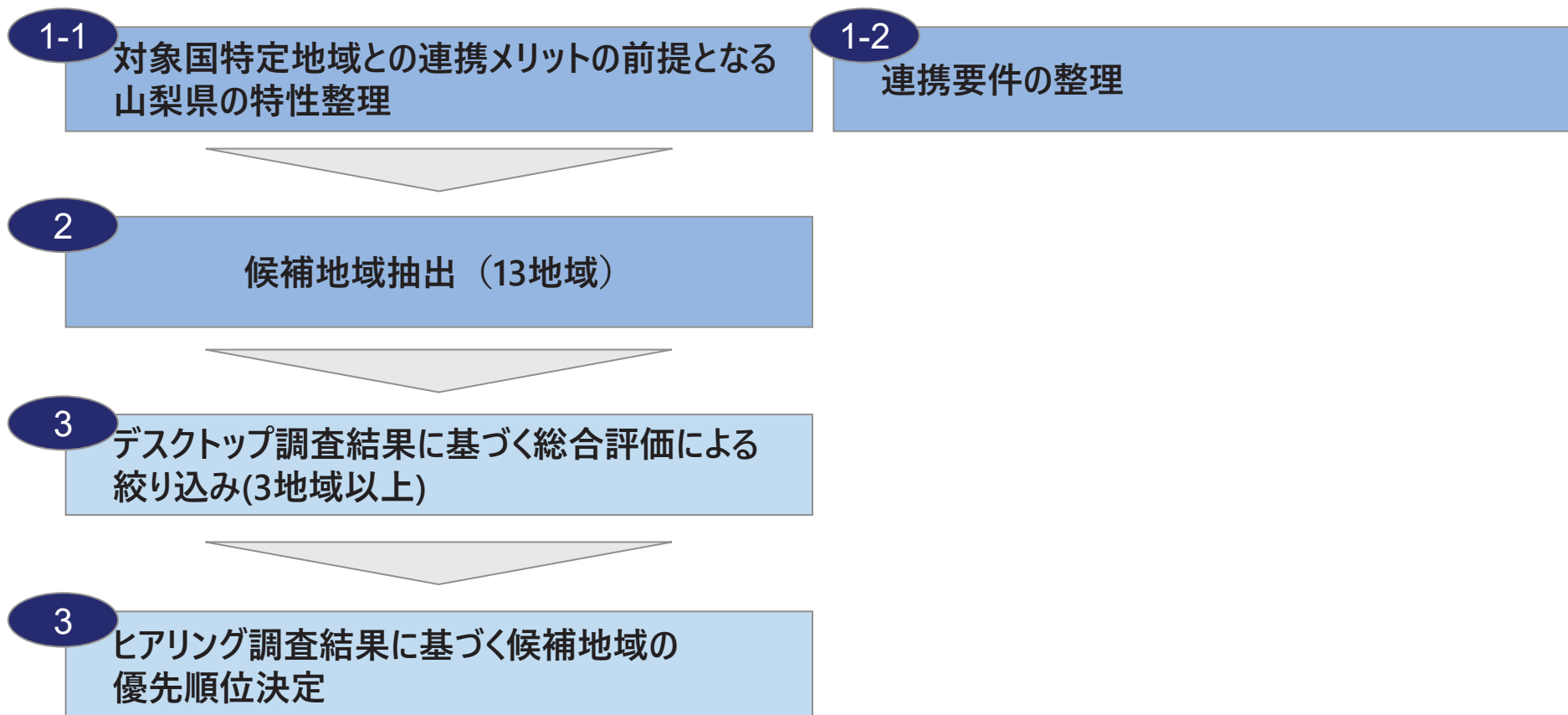
【デスクトップ調査項目】

- ① 基礎情報（人口、面積、宗教、気候、インフラ、歴史・文化、医療体制など）
- ② 政治体制
- ③ 基礎的経済指標（GDP、経済成長率、消費者物価上昇率、消費動向（例 果物・アルコールなどの消費額）、失業率、日本との輸出入の動向など）
- ④ 主要産業の状況（商業、工業、農業など）
- ⑤ 観光業、訪日客の状況
- ⑥ 日本企業の進出に関する事項（投資促進、外資奨励・規制、優遇措置など）
- ⑦ 貿易に関する事項
- ⑧ 労働人材の特色
- ⑨ 高等教育機関や研究機関の特色（工業、農業分野など）
- ⑩ 日本以外の海外の地域との連携の状況
- ⑪ 日本との関係（日本政府との取組、日本企業進出状況、他都道府県と連携の有無）

スクリーニング（中間報告での総合評価対象地域への絞り込み） 総合評価リストによる多角的な候補地域の評価

- 検討候補地域の絞り込みは、主に下記4つのステップにより実施することを想定する。

検討候補地域の絞り込みロジック（ステップ）



本経過報告での、17地域からのスクリーニング（中間報告での総合評価対象地域への絞り込み）

評価項目一覧

要件（評価項目）	17地域 抽出	13地域 絞り込み	連携候補 選定	最終候補 優先順位
山梨県が指定する1～2地域、在日ロシア大使館の推薦	✓			
地域性、相対的にモスクワから遠くない地域（ウラルより西、モスクワより南部）	✓			
政治的側面から連携対象となりにくい地域の除外（*）	✓			
GDP、人口規模		✓	✓	
輸出入貿易規模			✓	
インバウンド観光の促進（海外、国内旅行者数の分析）			✓	
産業面での関連性・産業構造			✓	
産業面での関連性・共通性：ぶどう、ワイン			✓	
産業面での関連性・共通性：（先端技術）水素・燃料電池分野での連携			✓	
産業面での関連性・共通性：（先端技術）医療機器分野での連携			✓	
産業面での関連性・共通性：製造業（生産機械等）			✓	
産業面での関連性・共通性：その他（インフラ、寄港環境等）			✓	
文化面における関連性・共通性			✓	
グローバル人材の確保・育成（大学、学術施設数）			✓	
外国企業誘致（環境整備）			✓	
日本以外の海外の地域との連携の状況			✓	
日本との関係（日本政府との取組、日本企業進出状況、他都道府県と連携）			✓	
現段階で連携後に想定されるメリット				✓
連携の実現可能性（制度や他地域との連携事例など）				✓
スクリーニング方法	基礎条件	基礎要件	評点評価	定性評価

出所) NRI *例) クリミア半島、チェチン共和国、ダゲスタン共和国 等

1. 連携有望候補地域の選定

1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法

2) 連携検討候補13地域の抽出

3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査

1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査

2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価


3. 連携有望候補地域の結論

中間報告での総合評価対象地域への絞り込み：GDP規模TOP30地域を検討対象としたスクリーニング

GDPトップ30地域とロシア連邦投資環境ランキング（2021年6月4日発表）

- ウラル連邦管区より西の地域でトップ30に入る地域はモスクワ市を含めて17地域。東京、京都、大阪市とそれぞれ姉妹関係にあるモスクワとレニングラード州、サンクトペテルブルク市を除くと、13地域が経済規模の面で検討候補。

	地方・州名	地方・州が属する 連邦管区	GDP (2019年、百万RUB)	人口 (2021年、人)	一人当たりのGDP (2019年、ルーブル)	ロシア連邦投資環境ランキン グでの位置 (2021年版) *
	山梨県**		2,023,394.0	817,583	2,474,848.0	-
	1 モスクワ市	連邦市	19,673,004.0	12,655,050	1,555,586.6	1
	2 モスクワ州	中央連邦管区	5,128,439.1	7,708,499	670,800.3	7
	3 サンクトペテルブルク市	連邦市	5,124,594.0	5,384,342	950,587.3	8
	4 ハンティ・マンシ自治管区・ユグラ	ウラル連邦管区	4,563,061.5	1,687,654	2,733,622.7	6
	5 ヤマロ・ネネツ自治管区	ウラル連邦管区	3,100,561.1	547,010	5,710,467.4	-
①	6 タートルスタン共和国	沿ヴォルガ連邦管区	2,795,850.6	3,894,120	716,745.5	2
	7 クラスノヤルスク地方	シベリア連邦管区	2,692,239.2	2,855,899	938,016.7	-
②	8 クラスノダール地方	南部連邦管区	2,569,810.7	5,683,947	453,882.0	7
	9 スヴェルドロフスク州	ウラル連邦管区	2,529,549.3	4,290,067	586,468.3	-
③	10 バシコルトスタン共和国	沿ヴォルガ連邦管区	1,810,091.0	4,013,786	447,535.2	5
④	11 サマラ州	沿ヴォルガ連邦管区	1,687,924.3	3,154,164	530,579.4	8
⑤	12 ロストフ州	南部連邦管区	1,637,748.1	4,181,486	389,933.4	12
⑥	13 ニジニ・ノヴゴロド州	沿ヴォルガ連邦管区	1,621,913.1	3,176,552	505,460.2	6
	14 イルクーツク州	シベリア連邦管区	1,545,680.6	2,375,021	645,518.8	-
	15 チェリャビンスク州	ウラル連邦管区	1,545,582.5	3,442,810	445,276.7	9
⑦	16 ペルミ地方	沿ヴォルガとウラル連邦管区	1,495,011.8	2,579,261	573,894.3	-
	17 ノヴォシビルスク州	シベリア連邦管区	1,409,192.0	2,785,836	504,043.1	-
	18 チュメニ州 (**)	ウラル連邦管区	1,255,466.2	1,543,389	821,610.6	3
	19 レニングラード州	北西連邦管区	1,224,514.1	1,892,711	657,679.7	10
	20 サハ共和国	極東連邦管区	1,220,319.8	981,971	1,258,706.5	10
	21 サハリン州	極東連邦管区	1,173,894.8	485,621	2,400,858.1	8
	22 ケメロヴォ州	シベリア連邦管区	1,110,415.1	2,633,446	416,501.2	12
⑧	23 オレンブルク州	沿ヴォルガ連邦管区	1,107,155.3	1,942,915	564,897.9	-
	24 沿海地方	極東連邦管区	1,066,724.7	1,877,844	561,643.0	-
⑨	25 ヴォロネジ州	中央連邦管区	1,002,597.7	2,305,608	431,037.0	-
⑩	26 ヴォルゴグラード州	南部連邦管区	961,413.3	1,151,042	384,677.3	-
⑪	27 ベルゴロド州	中央連邦管区	955,951.6	1,541,259	617,426.5	10
⑫	28 スタヴロポリ地方	北カフカース連邦管区	827,044.4	2,792,796	295,435.5	-
⑬	29 サラトフ州	沿ヴォルガ連邦管区	811,772.2	2,395,111	333,876.5	-
	30 ハバロフスク地方	極東連邦管区	802,972.2	1,301,127	608,977.5	-

 ロシアの西側
にある地域

出所) ロシア統計庁、戦略イニシアチブ庁 (ASI) **2018年、レート (2018年) : 1.7674RUB/YEN

*2021年におけるロシアの85個の自治体以内 ***ハンティ・マンシ自治管区・ユグラとヤマロ・ネネツ自治管区を除外

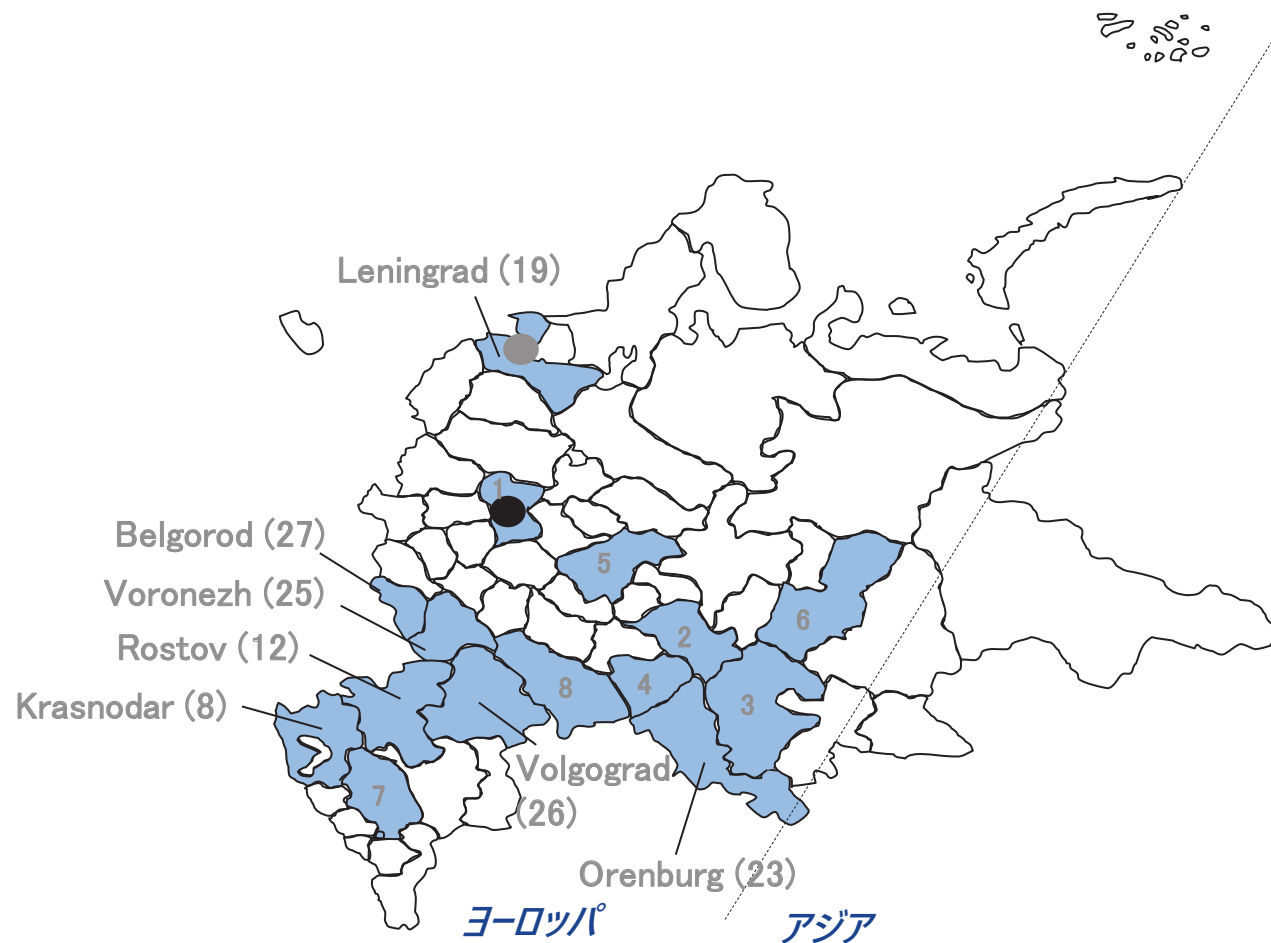
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

中間報告での総合評価対象地域への絞り込み：GDP規模TOP30地域を検討対象としたスクリーニング

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る17地域

- ロシアは85の連邦構成主体により構成される。モスクワ市、モスクワ州、サンクトペテルブルク市の経済規模はロシアにおいて最大である。

- Moscow (1)
- Saint-Petersburg (3)
- 1. Moscow Region (2)
- 2. Tatarstan (6)
- 3. Bashkortostan (10)
- 4. Samara (11)
- 5. Nizhny Novgorod (13)
- 6. Perm (16)
- 7. Stavropol (28)
- 8. Saratov (29)



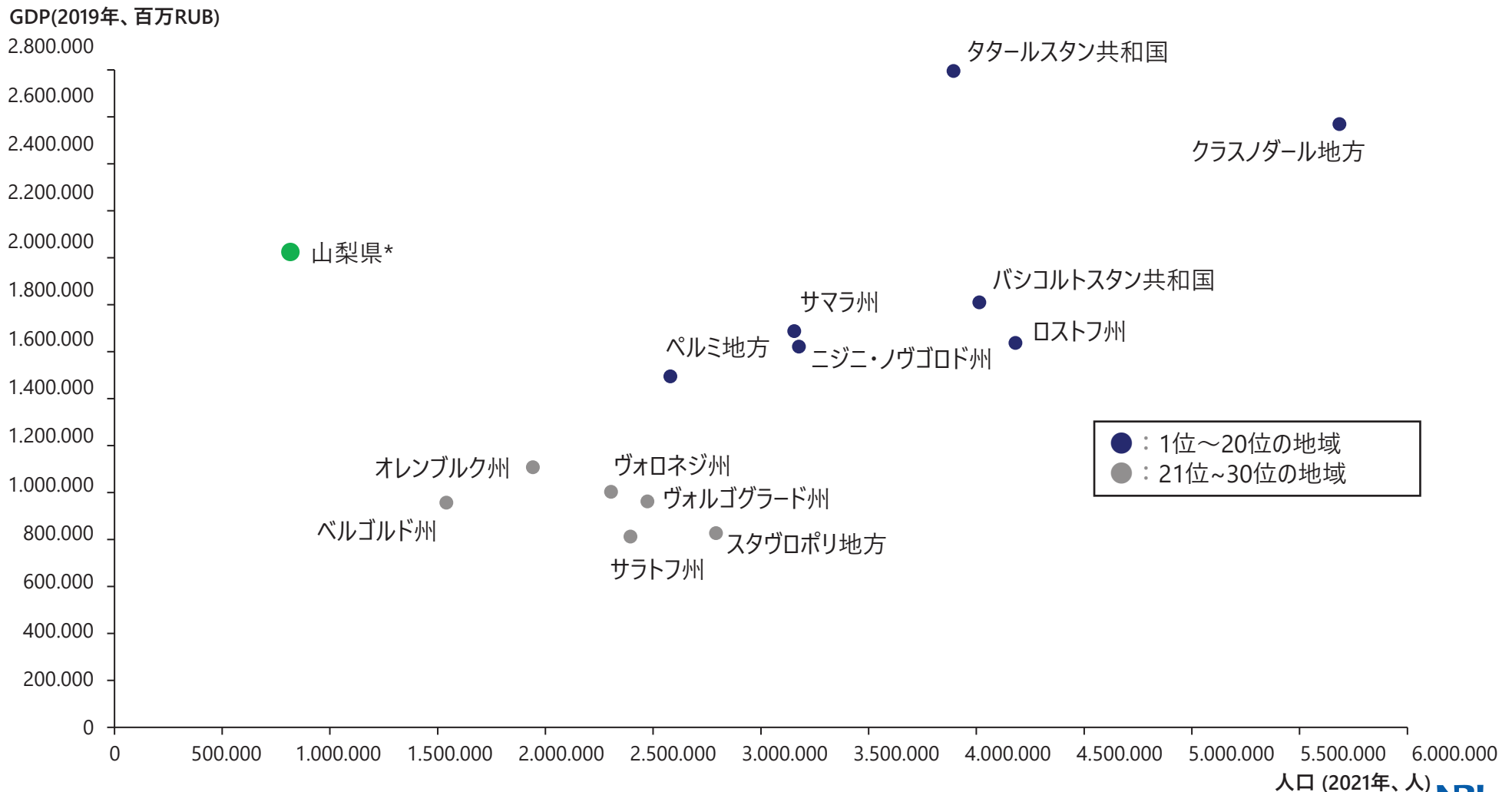
出所) 各種資料よりNRI作成
注) ()内はGDPによる地域のランキング

中間報告での総合評価対象地域への絞り込み：GDP規模TOP30地域を検討対象としたスクリーニング

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る13地域のスクリーニング提案

- GDPでTOP30にはいるロシア西側地域でも経済規模、人口において大きなばらつきがある。
- 山梨県並びに他候補地域との相対比較で、ヴォロネジ州より規模の小さい州は、総合評価対象地域から除外しても良いかと考える。

ロシアのウラル連邦管区より西に位置するGDP-TOP30以内に入る地域のGDP・人口規模の相対比較**



中間報告での総合評価対象地域への絞り込み：GDP規模TOP30地域を検討対象としたスクリーニング

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る13地域（*）の産業構造(#1/2)

- 総じて各地域における産業として「製造業」産業の比率は相対的に高い。
- 物流（「輸送と保管」）ではクラスノダールにとって重要な産業となっている。
- 「農業、林業、狩猟、漁業と養殖」では、ベルゴロドにとって重要な産業となっている。
- 「卸売・小売業及び自動車修理」はオレンブルクを除けば、各地域とも総じて産業としての比率は高い。
- 「鉱業」ではタートルスタン、サマラ、ペルミやオレンブルクが産業として保有。これは石油・ガスなどの資源によるもの。

*）モスクワ州・市、レニングラード州、サンクトペテルブルクを除く

GDP-TOP30地域のうち、モスクワ州、レニングラード州を除くウラル連邦管区より西の地域における産業構造（2019、%）

主な産業	タートルスタン共和国	クラスノダール地方	バシコルトスタン共和国	サマラ州	ロストフ州	ニジニ・ノヴゴロド州	ペルミ地方	オレンブルク州	ヴォロネジ州	ヴォルゴグラード州	ベルゴロド州	スタヴロポリ地方	サラトフ州
GDP(2019,億RUB)	27,959	25,698	18,101	16,879	16,377	16,219	14,950	11,071	10,026	9,614	9,559	8,270	8,118
卸売、小売業及び自動車修理	10.4%	14.6%	12.7%	10%	16%	16.5%	9.3%	6.2%	19%	12.0%	12.6%	14.8%	9.1%
輸送と保管	5.8%	14.5%	6.3%	6.8%	7.2%	6.4%	-	-	7.7%	6.4%	-	6.9%	7.4%
農業、林業、狩猟、漁業と養殖	-	8.8%	5.3%	-	10.7%	-	-	6.7%	12.3%	11.5%	16.9%	12.5%	10.5%
製造業	14.3%	11.6%	31.4%	20%	17.7%	28.7%	28.8%	11.5%	14.4%	24.5%	15.3%	11.4%	18.6%
建設	7.3%	6.3%	6.6%	-	6.4%	-	-	5.9%	8.6%	9.3%	5.2%	7.3	6.6%
不動産活動	8%	12.5%	8.9%	11.1%	12.6%	11.4%	7.4%	5.4%	9.2%	9.5	8.8	11%	9.9%
鉱業	28.7%	-	-	18.8%	-	-	22.6%	40.9%	-	-	19.2%	-	-
専門・科学的及び技術的活動	-	-	-	-	-	5.5%	-	-	-	-	-	-	-
行政と軍事安全保障、社会保障	-	5.7%	-	-	5.9%	-	-	-	6.1%	5.8%	7.4%	9.6%	6.9%
保健・社会福祉分野での活動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3%	6.1%
電気、ガス、蒸気の供給;コンディショニング	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7%
その他	25.5%	26%	28.8%	33.3%	23.5%	31.5%	31.9%	23.4%	22.7%	35.1%	22%	18.2%	17.2%

出所) ロシア統計庁資料よりNRI作成 注) ハッチングは各地域の経済構造でトップ2を構成する産業並びに、15%以上を占める産業

中間報告での総合評価対象地域への絞り込み：GDP規模TOP30地域を検討対象としたスクリーニング

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る13地域（*）の産業構造(#2/2)

*）モスクワ州・市、レニングラード州、サンクトペテルブルクを除く

- 「卸売、小売業及び自動車修理」：1位クラスノダール、2位タタールスタン、3位ロストフ、4位ニジニ・ノヴゴロド、5位バシコルトスタン
- 「農業、林業、狩猟、漁業と養殖」：1位クラスノダール、2位ベルゴロド、3位ロストフ、4位タタールスタン、5位ヴォロネジ
- 「製造業」：1位バシコルトスタン、2位ニジニ・ノヴゴロド、3位ペルミ、4位タタールスタン、5位サマラ
- 「専門・科学的及び技術的活動」：1位ニジニ・ノヴゴロド、2位タタールスタン、3位バシコルトスタン、4位クラスノダール、5位サマラ

GDP-TOP30地域のうち、モスクワ州、レニングラード州を除くウラル連邦管区より西の地域における産業構造（2018、億RUB）

主な産業	タタールスタン共和国	クラスノダール地方	バシコルトスタン共和国	サマラ州	ロストフ州	ニジニ・ノヴゴロド州	ペルミ地方	オレンブルク州	ヴォロネジ州	ヴォルゴグラード州	ベルゴロド州	スタヴロポリ地方	サラトフ州
GDP(2018,億RUB)	26,228	24,999	16,737	15,105	14,462	13,675	13,185	10,006	9,436	9,278	9,116	7,841	7,125
卸売、小売業及び自動車修理	2,831	3,828	2,303	1,573	2,555	2,346	1,292	588	1,761	1,127	1,137	1,126	799
輸送と保管	1,462	3,874	1,028	1,089	1,125	974	106	440	657	470	380	163	599
農業、林業、狩猟、漁業と養殖	1,403	2,086	997	588	1,478	369	285	717	1,302	894	1,572	1,047	745
製造業	3,899	2,941	5,878	3,343	3,010	4,361	4,027	1,410	1,394	2,339	1,602	996	1,488
建設	2,038	1,657	1,038	617	822	663	559	678	766	519	440	493	405
不動産活動	1,976	3,032	655	866	1,177	612	536	206	1,053	858	777	835	312
鉱業	7,536	128	530	3,145	171	11	2,948	4,107	44	545	1,676	40	277
専門・科学的及び技術的活動	830	642	718	615	409	861	340	122	408	288	121	136	178
行政と軍事安全保障、社会保障	861	1,387	598	556	695	548	537	346	443	688	343	727	445
保健・社会福祉分野での活動	594	1,303	707	537	743	622	473	358	387	394	292	635	457
電気、ガス、蒸気の供給;コンディショニング	509	547	427	507	649	453	352	310	237	211	151	345	647
その他	2,289	3,574	1,858	1,669	1,628	1,855	1,730	724	984	945	625	1,298	773

出所) ロシア統計庁資料よりNRI作成 注) ハッチングは産業毎にトップ5の地域

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

ウラル連邦管区より西で、GDPトップ30に入る地域の日本との連携関係（#1/2）

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る13地域の日本との連携関係（#1/2）

地域	日本との連携関係	日本企業等の立地	日本以外の外国との連携関係、(合計)	特に関連するコメント
タタールスタン共和国	無し	有り (2社)	インドネシア、トルコ、イタリア、中国、ウクライナ、カザフスタン、ドイツ、など（23諸国）	<ul style="list-style-type: none"> タタール人をはじめ様々な民族や宗教が平和的に並存し、発展した石油や自動車やITなど関連産業が発展し、様々な海外地域と経済的・文化的関係を持っている。
クラスノダール地方	有り 山口県友好 交流地域	有り (1社)	イタリア、米国、ドイツ、中国、アブハジア、オーストリア、フランス、英国、など（24諸国）	<ul style="list-style-type: none"> 農業をはじめ豊富な自然のある観光地域としてよく知られ、欧州やアジアなどの諸国々と連携している。
バシコルトスタン共和国	無し	無し	トルコ、ドイツ、中国、カザフスタン、キルギスタン、ベラルーシ、ジブチ、アブハジア、フィンランド、オーストリア（10諸国）	<ul style="list-style-type: none"> ウラル山脈に近い、自然の豊富で綺麗な地域、ナチュラルな蜂蜜や食品など生産場所としてよく知られている地域である。
サマラ州	無し	有り (5社)	ブルガリア、ドイツ、米国、イタリア、ベラルーシ、ウクライナ、中国、スロベニア、オーストリア、韓国、フランス、など（13諸国）	<ul style="list-style-type: none"> ロシアにおける自動車産業の主要地域である。
ロストフ州	無し (沖縄県と 連携可能性)	無し	ブルガリア、英国、ドイツ、フランス、ウクライナ、アルメニア、フィンランド、など（18諸国）	<ul style="list-style-type: none"> ロシア南部に位置し、農業や農業機械関連の産業が発展している。輸送システムが発展し、海外地域との協力を積極的。
ニジニ・ノヴゴロド州	無し	有り (5社及び 日本センター)	ドイツ、米国、オーストリア、中国、フィンランド、ウクライナ、キューバ、韓国、など（16諸国）	<ul style="list-style-type: none"> 発展した産業や豊富な歴史を持つ地域であり、様々な国々と積極的に連携している。
ペルミ地方	無し	無し	フランス、米国、英国、中国、ドイツ、イタリア（6諸国）	<ul style="list-style-type: none"> 石油、ガス、鉱物塩、金、ダイヤモンドなど資源の豊富な地域である。また、バレースクールも国際的によく知られている。

ウラル連邦管区より西で、GDPトップ30に入る地域の日本との連携関係 (#2/2)

ウラル連邦管区より西の地域で経済規模トップ30に入る13地域の日本との連携関係 (#2/2)

地域	日本との連携関係	日本企業等の立地	日本以外の外国との連携関係、(合計)	特に関連するコメント
オレンブルク州	無し	無し	米国、ポーランド、タジキスタン、カザフスタン、ブルガリア、フランス、ベラルーシ (7 諸国)	<ul style="list-style-type: none"> この地域はヨーロッパとアジアの接合部にあり、自然が豊富であるため、エコツーリズムが人気である。また、ダウニーショールの生産場所とユーレイ・ガガーリンが生まれた地域としてよく知られている。
ヴォロネジ州	在り 日露経済協力 モデル都市 *連携地域はなし	有り (1社)	チェコ、ドイツ、米国、中国、ブルガリア、スペイン、モルドバ、ハンガリー (8 諸国)	<ul style="list-style-type: none"> ロシアの最初の軍艦が建造され、農業と機械工学の地域や歴史・文化が豊かな地域としてよく知られ、日本 (スマートシティというプロジェクト) をはじめ様々な国と協力し、関係を構築している。
ヴォルゴグラード州	有り (広島市)	無し	英国、チェコ、フランス、フィンランド、ベルギー、イタリア、ドイツ、米国、カナダ、中国、など (17 諸国)	<ul style="list-style-type: none"> 大祖国戦争の博物館が多く、また、この州は豊富な自然や農業地域としてよく知られ、国際連携・協力を積極的に維持している。
ベルゴロド州	無し	無し	ドイツ、セルビア、ウクライナ、フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> この地域は鉱石が豊富であるため、鉱業と鉄冶金が中核産業である。また、農業 (特に、豚肉や鶏肉の生産地) 地域としてもよく知られている。
スタヴロポリ地方	無し	無し	ブルガリア、フランス、米国、中国、アルメニア、アゼルバイジャン、インド、ギリシャ、など (16 諸国)	<ul style="list-style-type: none"> この地方は、帝政時代以降ミネラルウォーターと温泉療法施設、豊富な自然、農業地域などでよく知られ、国際協力・連携に積極的である。
サラトフ州	無し	無し	米国、ブルガリア、中国、フランス、ウズベキスタン、モルドバ、ポーランド、イタリア、南オセチア、ベラルーシ、アゼルバイジャン、など (15 諸国)	<ul style="list-style-type: none"> この地域には観光ポテンシャルの高い自然や歴史が豊かである。農業と製造業が発展している地域としてよく知られ、様々な国々・海外地域と連携している。

日露の姉妹都市・地域（2020年2月現在）

日露の姉妹都市・地域（2020年2月現在）

都市名・地域名	
北海道	サハリン州
札幌市（北海道）	ノボシビルスク（ノボシビルスク州）
函館市（北海道）	ウラジオストク（沿海地方） ユジノサハリンスク（サハリン州）
小樽市（北海道）	ナホトカ（沿海地方）
旭川市（北海道）	ユジノサハリンスク（サハリン州）
釧路市（北海道）	ホルムスク（サハリン州）
北見市（北海道）	ポロナイスク（サハリン州）
留萌市（北海道）	ウラン・ウデ（ブリヤート共和国） ユジノサハリンスク（サハリン州）
稚内市（北海道）	コルサコフ（サハリン州） ネベリスク（サハリン州）
紋別市（北海道）	コルサコフ（サハリン州）
名寄市（北海道）	ドリンスク（サハリン州）
根室市（北海道）	セベロクリリスク（サハリン州）
石狩市（北海道）	ワニノ（ハバロフスク地方）
東川町（北海道）	アニワ市（サハリン州）
天塩町（北海道）	トマリ（サハリン州）
猿払村（北海道）	オジョールスキイ（サハリン州）
青森県	ハバロフスク地方
秋田県	沿海地方
秋田市	ウラジオストク（沿海地方）
山形市	ウラン・ウデ（ブリヤート共和国）
酒田市（山形県）	ジエズノゴルスク・イリムスキー（イルクーツク州）
村山市（山形県）	ヤクーツク（サハ共和国）
庄内町（山形県）	コルサコフ（サハリン州）

都市名・地域名	
東京都	モスクワ市
新潟市	ハバロフスク（ハバロフスク地方）
	ビロビジャン市（ユダヤ自治州）
	ウラジオストク（沿海地方）
加茂市（新潟県）	コムソリスク・ナ・アムレ市（ハバロフスク地方）
富山県	沿海地方
石川県	イルクーツク州
金沢市（石川県）	イルクーツク（イルクーツク州）
七尾市（石川県）	ブラーツク（イルクーツク州）
能美市（石川県）	シェレホフ（イルクーツク州）
敦賀市（福井県）	ナホトカ（沿海地方）
京都府	レニングラード州
舞鶴市（京都府）	ナホトカ（沿海地方）
大阪府	沿海地方
大阪市	サンクトペテルブルク市
兵庫県	ハバロフスク地方
洲本市（兵庫県）	クロンシュタット市
鳥取県	沿海地方
島根県	沿海地方
広島市	ボルゴグラード（ボルゴグラード州）
長門市（山口県）	ソチ（クラスノダール地方）

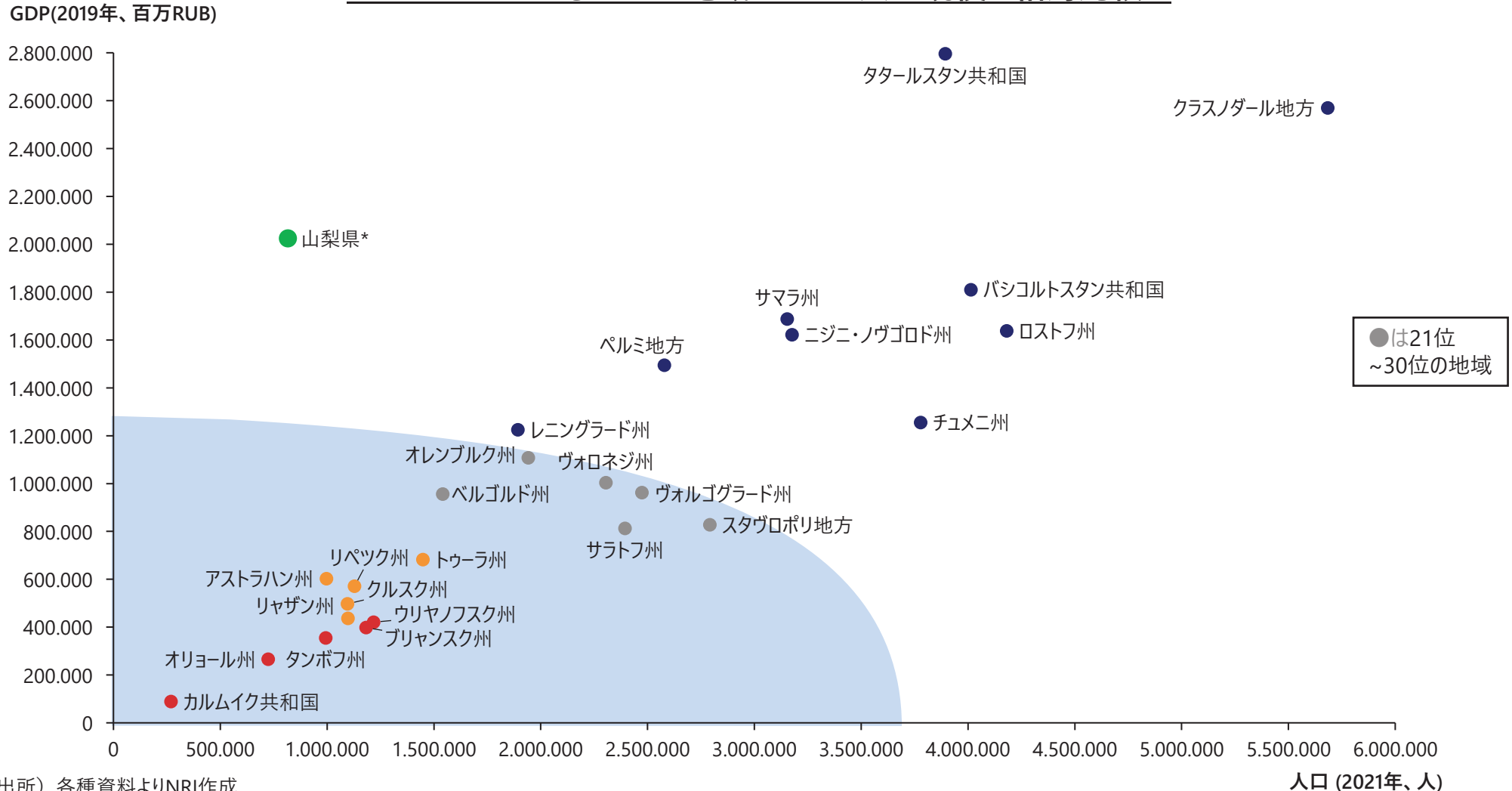
出所） https://www.ru.emb-japan.go.jp/itpr_ja/jrelationship.html

参考資料

ロシアGDPトップ30地域

■ GDPでTOP30地域でも経済規模、人口において大きなばらつきがある。

ロシアのGDPによるTOP30地域のGDP・人口規模の相对比较**



出所) 各種資料よりNRI作成

*2018年、レート(2018年) : 1.7674RUB/YEN **モスクワ市とモスクワ州、サンクトペテルブルク市を記述から除外

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

1. 連携有望候補地域の選定
 - 1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法
 - 2) 連携検討候補13地域の抽出
 - 3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査
 - 1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査
 - 2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価

3. 連携有望候補地域の結論

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

総合評価における評点方法 (#1/2)

項目	評価基準 (説明)	ウェイト	評点 0	評点 1	評点 2	評点 3
GDP	各州・地域のGDP規模によるランク	1	-	0.8兆～1.1兆RUB	1.1兆～1.8兆RUB	1.8兆～2.8兆RUB
人口	各州・地域の人口の大きさによるランク	1	-	1.5百万～2.0百万人	2.0百万～3.8百万人	3.8百万人以上
経済成長率	各州・地方のGPD対前年成長率によるランク	1	<0%	0%～1.2%	1.3%～1.6%	1.7%～3.6%
輸出額	各州・地方の輸出額によるランク	1	-	1.1億～2.1億ドル	2.1億～5.0億ドル	5.0億～12.9億ドル
日本への輸出額	各州・地方の日本への輸出額によるランク	1	0百万ドル	2百万～13百万ドル	13百万～25百万ドル	25百万～91百万ドル
輸入額	各州・地方の輸入額によるランク	1	-	0.2億～1億RUB	1.0億～3.0億RUB	3.0億～4.4億RUB
日本からの輸入額	各州・地方の日本からの輸入額によるランク	1	0～2百万ドル	2百万～16百万ドル	16百万～30百万ドル	30百万～81百万ドル
大学・大学院の数	各州・地方の大学・大学院数によるランク	1	-	10・6	15・6～22・16	23・14～40・22
投資誘致総額	固定資本投資の金額によるランク	1	-	158億～190億RUB	190億～280億RUB	280億～641億RUB
ロシア連邦投資環境 ランキング	ロシア連邦投資環境ランキングによるランク	1	ランキング外	11～12	6～10	2～5
ぶどう生産・ワイナリー 分野の有・無	ぶどう生産・ワイナリー分野の有・無	1	無し	-	-	有り
ぶどう生産量	各州・地方におけるぶどう生産量によるランク	1	0 t	0t～2万 t	2万～10万 t	10万以上 t
ワイン生産量	各州・地方におけるワイン生産量によるランク	1	0 DI	0～1百万DI	1百万～10百万DI	10百万～25百万DI

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

総合評価における評点方法 (#2/2)

項目	評価基準 (説明)	ウェイト	評点 0	評点 1	評点 2	評点 3
ロボット開発分野の有・無	各州・地方政府のロボット開発関連のサポート、学生向けのサークル、コンクールの有無	1	無し	-	-	有り
ロボット開発関連企業の有無	各州・地方におけるロボット開発関連企業の有無	1	無し	-	-	有り
低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）の有無	各州・地方における低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）の有無	1	無し	-	-	有り
州・地方の訪問人数	各州・地方における訪問人数によるランク	1	-	30万～1百万人	1百万～5百万人	5百万人以上
海外からの訪問客数	各州・地方における海外からの訪問客数によるランク	1	-	8千～6万人	6万～20万人	20万人以上
海外旅行者数	各州・地方における海外旅行者数によるランク	1	-	1千～1.5万人	1.5万～10万人	10万人以上
アスファルト舗装の道路の内、改善されたアスファルトのある道路	各州・地方において改善されたアスファルトのある道路の割合によるランク	1	-	40%～60%	60%～80%	80%以上
高速鉄道設備計画の有無	高速鉄道設備計画の有無でスコア	1	無し	-	-	有り
経済特区の数（優先的 socioeconomic 発展区域（TOR）を含む）	各州・地方における経済特区の数によるランク	1	0	1～2	3～4	5～7
日本との関係の有無	日本の政府や企業との協力の有無	1	無し	-	-	有り

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：項目ごとの評点と総合点数

■ 総合点数結果では、クラスノダール地方、タタールスタン共和国、ロストフ州が有望連携候補地域と評価。

評価項目／州・地方名	クラスノダール地方	タタールスタン共和国	ロストフ州	ニジニ・ノヴゴロド州	バシコルトスタン共和国	サマラ州	ヴォロネジ州	ヴォルゴグラード州	スタヴロポリ地方	ペルミ地方	オレンブルク州	ベルゴロド州	サラトフ州
GDP	3	3	2	2	3	2	1	1	1	2	2	1	1
人口	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2	1	1	2
経済成長率	1	3	3	3	3	2	2	0	3	1	3	3	2
輸出額	3	3	3	2	2	2	1	1	1	3	1	2	1
日本への輸出額	1	2	1	3	1	1	0	2	1	3	2	3	0
輸入額	3	3	2	3	1	2	1	1	1	2	1	2	1
日本からの輸入額	3	3	3	0	2	3	1	1	1	2	1	2	1
大学・大学院の数	3	3	3	3	3	2	3	2	3	2	2	1	2
投資誘致総額	3	3	3	2	3	2	3	2	1	2	1	1	1
ロシア連邦投資環境ランキング	2	3	1	2	3	2	0	0	0	0	0	2	0
ぶどう生産・ワイナリー分野の有・無	3	3	3	3	3	3	0	3	3	0	3	0	3
ぶどう生産量	3	0	2	1	0	1	0	0	2	0	1	0	1
ワイン生産量	3	1	1	1	1	1	0	1	3	0	0	0	0
ロボット開発分野の有・無	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	3
ロボット開発関連企業の有無	3	3	3	3	3	3	3	3	0	3	0	0	0
低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）の有無	3	3	3	0	3	3	3	3	3	0	3	0	3
州・地方の訪問人数	3	2	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1
海外からの訪問客数	3	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1
海外旅行者数	3	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
アスファルト舗装の道路の内、改善されたアスファルトのある道路	2	2	2	3	1	3	3	3	2	1	1	3	2
高速鉄道設備計画の有無	3	3	3	3	0	0	3	0	0	0	0	3	0
経済特区の数（優先的社会経済発展区域（TOR）を含む）	3	3	2	2	3	2	1	1	0	1	2	1	1
日本との関係の有無	3	3	3	3	3	3	3	3	0	3	3	0	0
総合評価	63	59	54	49	48	46	37	35	35	33	30	28	27

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：評価項目ごとの調査結果総括 (#1/3)

評価項目ごとの調査結果総括表 (#1/3)

州・地方名	クラスノダール地方	タタルスタン共和国	ロストフ州	ニジニ・ノヴゴロド州	バシコルトスタン共和国	サマラ州	ヴォロネジ州	ヴォルゴグラード州	スタヴロポリ地方	ペルミ地方	オレンブルク州	ベルゴロド州	サラトフ州
GDP (2019年、10億ルーブル)	2,569.8	2,795.9	1,637.7	1,621.9	1,810.0	1,687.9	1,002.6	961.4	827.0	1,495.0	1,107.2	956.0	811.8
人口 (2021年、万人)	568	389	418	318	401	315	231	247	279	258	194	154	240
経済成長率 (2019年、%)	0.3%	2.8%	1.8%	3.6%	1.9%	1.4%	1.3%	-0.1%	2.5%	0.6%	2.2%	2.0%	1.4%
輸出額 (2019年、百万ドル)	7,414.3	12,866.4	8,275.0	4,896.3	4,256.9	4,667.3	1,226.5	1,560.5	1,196.9	5,781.5	2,052.9	3,264.9	1,368.6
輸入額 (2019年、百万ドル)	4,303.1	3,168.8	2,869.3	3,434.0	764.6	2,432.3	906.5	779.2	615.1	1,150.4	297.7	1,487.4	676.9
日本への輸出額 (2019年、百万ドル)	5.9	24.6	12.2	34.2	2.6	5.6	0.0	13.3	2.7	90.8	22.2	40.5	0.0
日本からの輸入額 (2019年、百万ドル)	32.1	57.0	80.5	0.1	27.7	67.9	3.1	2.8	7.7	16.0	3.2	27.6	3.6
大学・学院の数	36・15	36・24	40・22	26・17	27・14	22・16	23・14	20・12	29・14	16・10	15・6	10・6	16・8
投資誘致総額* (2019年、百万ルーブル)	439,635.0	640,837.1	282,970.0	206,491.7	322,104.2	239,959.0	298,024.0	199,490.0	180,017.0	221,411.5	158,276.6	167,367.0	162,120.3
ロシア連邦投資環境ランキングでの位置(ACI, 2021年)	7	2	12	6	5	8	-	-	-	-	-	10	-
ぶどう生産・ワインリー分野の有・無	有り	有り	有り	有り	有り	有り	無し	有り	有り	無し	有り	無し	有り
ぶどう生産量 (2019年、トン)	498,000	-	30,582.1	700	-	3,600	-	-	42,000	-	4.06	-	5,995
ワイン生産量 (2019年、千デカリットル)	24,035	12.9	585	228	830	302	-	3.3	10,545	-	-	-	-
ロボット開発分野の有・無	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	無し	無し	有り
ロボット開発関連企業の有無	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	無し	有り	無し	無し	無し
低炭素・水素関連企業(代替エネルギー)の有無	有り	有り	有り	無し	有り	有り	有り	有り	有り	無し	有り	無し	有り
州・地方の訪問人数 (2019年、人)	8,298,619	2,335,071	1,277,290	1,269,382	1,284,825	1,018,820	709,286	707,476	1,124,152	318,523	407,783	337,249	484,434
海外からの訪問客数 (2019年、人)	228,712	106,989	79,192	66,723	45,531	49,114	64,036	21,173	52,984	17,443	16,715	23,508	8,690
海外旅行者数 (2019年、人)	124,276	33,020	14,721	12,391	4,809	7,397	5,859	8,939	17,341	5,115	2,704	2,891	3,171
アスファルト舗装の道路の内、改善されたアスファルトのある道路(%, 2020年)	63.1	77.7	79.1	85.7	45.6	83.6	84.6	91.5	70.1	43.7	46.0	98.6	78.9

3点 2点 1点 0点 出所) 各種資料よりNRI作成

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：評価項目ごとの調査結果総括 (#2/3)

評価項目ごとの調査結果総括表 (#2/3)

州・地方名	クラスノダール地方	タタールスタン共和国	ロストフ州	ニジニ・ノヴゴロド州	バシコルトスタン共和国	サマラ州	ヴォロネジ州	ヴォルゴグラード州	スタヴロポリ地方	ペルミ地方	オレンブルク州	ベルゴロド州	サラトフ州
高速鉄道設備計画	2030年までのロシア連邦輸送戦略：モスクワ市・ロストフ市・ナ・ドゥン市・アドレル市高速鉄道	モスクワ・カザン（・エカテリンブルク）高速鉄道の建設プロジェクトは延期	2030年までのロシア連邦輸送戦略：モスクワ市・ロストフ市・ナ・ドゥン市・アドレル市高速鉄道	モスクワ市・ウラジミール市・ニジニ・ノヴゴロド市高速鉄道（160km/h）が既にあるが、延期・中止されたモスクワ・カザン（・エカテリンブルク）高速鉄道にも含まれる	無し	無し	モスクワ市・ロストフ市・ナ・ドゥン市・アドレル市高速鉄道（2030年までのロシア連邦輸送戦略より）	無し	無し	無し	無し	2030年までのロシア連邦輸送戦略：モスクワ市・ロストフ市・ナ・ドゥン市・アドレル市高速鉄道	無し
経済特区の数（優先的 socioeconomic 発展区域（TOR）を含む）	7 （特区ではなく、地域の経済ゾーン）	7	3 （経済特区の設立は2020年より検討中）	4	6	3	2	1	無し	2	4 （うち、2つの経済特区が建設中）	1	2

3点 2点 1点 0点

出所) 各種資料よりNRI作成

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：評価項目ごとの調査結果総括 (#3/3)

評価項目ごとの調査結果総括表 (#3/3)

(州・地方名)	日本との関係（日本政府との取組、日本企業進出状況、他都道府県と連携の有無）
クラスノダール地方	<ul style="list-style-type: none"> 2018年、クラスノダール地方のソチ市と山口県の長門市は姉妹締結し、経済協力の検討、文化交流などを進めている。 クラスノダール地方のワイン会社（LEFKADIA社、SAUK DERE）が日本への輸出を希望。
タタルスタン共和国	<ul style="list-style-type: none"> 2008年、横河電機がタタルスタンの大型石油・石油化学プロジェクトの制御システムを受注。 2009年、三菱ふそうがロシアの商用車最大手のカマズ（Kamaz）と製販合弁会社をNaberezhnyye Chelny地区で設立。 2018年、金沢大学（石川県）とカザン連邦大と連携協定を結んでいる縁でタタルスタン大統領が石川県を訪問し更なる人的交流を要請。他に新潟大、筑波大との交流中。 2016年、飯田産業がタタルスタンのアラブガ（Alabuga）経済特区にプレハブ住宅の生産拠点を建設。 2021年、住友化学はタタルスタンの石油化学会社KOS社に高压法ポリエチレン製造技術のライセンスを供与。 ロシア連邦タタルスタン共和国 在日通商代表が東京に在職している。
ロストフ州	<ul style="list-style-type: none"> 2019年11月22日、日本のシステム環境研究所はロストフ州において日露医療センターの建設に向けて意見交換を実施。 2020年12月21日）在日ロシア大使館経由により、沖縄県とロストフ州は地域間交流MOU(覚書)の締結に向けて検討中。 2018年、日本たばこが同州の「Donskoy tobacco」社を買収。 ロストフ州知事と上月在ロシア日本大使との間で「日本におけるロストフ州の日」を2020年制定予定であったがコロナ禍で2021年に制定変更が予定されている。 2012年、ロストフ州ドネツク市が在ロシア日本大使館宛に日本の都市との姉妹都市提携を希望した。
ニジニ・ノヴゴロド州	<ul style="list-style-type: none"> 大同メタルロシアLLCは、2019年12月に創立60周年（1959年設立）を迎え、12月17日に地元ニジニ・ノヴゴロド州政府において記念式典を開催。 2001年、「外務省日本人材開発センター（通称：日本センター）」が設立。 2006年以降、宮城県と交流し、日本ビジネス業界と6件のプロジェクト（約4億7千万ドル）。同州と宮城県の大学の間の交流も進んでいる。
バシコルスタン共和国	<ul style="list-style-type: none"> 2005年、京都精華大学教授で、アライアークテック代表を務める建築家・新井清一氏が首都ウファール市の旧市街地を再生する都市計画の国際コンペを受注。 はちみつの生産量がロシア最大のバシコルスタン共和国の会社がはちみつを日本の輸入会社（AJ株式会社）を通じてFOODEX JAPAN 2017に出展。
サマラ州	<ul style="list-style-type: none"> 2012年、自動車用変速機（AT）メーカーのジヤトコは、サマラ州トリアッチ市に営業拠点を開設。同年、自動車部品（ライト・電装品）メーカーのハイレックスコーポレーションはサマラ州トリアッチ市に自動車用コントロールケーブルなどを製造販売する全額出資子会社を設立。また日本通運もトリアッチ市に営業所を開設。 2013年、ルノー・日産はサマラ州トリアッチ市に共同購買会社を設立。同年、三菱工業、アツミテックと豊田通商もサマラ州に自動車部品を生産する合弁会社を設立。
ヴォロネジ州	<ul style="list-style-type: none"> 2015年3月、古川電気工業傘下の米国の光ファイバーケーブル製造OFS社とロシア企業の合弁会社が、ボロネジ州の工業団地「マシロフスキー」で光ファイバーケーブル工場を始動。 2016年に国土交通省と建設・住宅公営事業省が共同議長を務める「日露都市環境問題作業部会（野村総合研究所副幹事）」において、ヴォロネジをモデル都市に選定。具体的には「スマート・ウェルネス住宅」（ナイス社）、「スマート信号機」（京三製作所）、「非開削型管路更生」（積水化学）、「TOD(公共交通指向型開発）」（日建設計）等のテーマでのプロジェクト提案が行われている。 2018年から国土交通省（鉄道局）はヴォロネジ都市鉄道整備に係る 実現可能性調査を実施（野村総合研究所実施）。
ヴォルゴグラード州	<ul style="list-style-type: none"> 広島市と1972年に姉妹都市締結し、交流を続けている。 丸紅は2018年に年産100万トン以上のメタノールプラントを州内のKhimprom の工場跡地に建設合意。投資額は8億\$以上で2022年後半の完成予定。
スタヴロポリ地方	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し
ペルミ地方	<ul style="list-style-type: none"> 三井物産とトヨタは1992年にペルミ市に自動車修理工場を開設。 三菱電機は2019年、ファナックは2018年にそれぞれペルミ州に技術人材育成センターを開設。 ペルミ地方のTENTORIUM社（はちみつ、はちみつ関連各種製品）は日本への進出意向を有している。 NHKドキュメンタリー映画 「巨大水中洞窟を潜る 絶景 オルダ"水の宇宙"」が放映（2017年）。
オレンブルク州	<ul style="list-style-type: none"> オレンブルク大学と広島大学は2006年に理学研究科が部局間協定を締結以降交流を継続している。 2012年から愛媛県と関係構築。姉妹・連携に前向き。
ベルゴロド州	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し
サラトフ州	<ul style="list-style-type: none"> 文化交流以外は特に無し

3点 2点 1点 0点

出所) 各種資料よりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：各地域の評価概要（#1/4）

■ 各地域の総評

州・地方名	連携対象地域として評価が高い点	連携対象地域として評価が低い点
クラスノダール地方	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が高く、ロシアにおけるぶどう生産量とワイン生産量が最大。 観光客、訪問人数は検討候補13地域の中で最も多い。 ロシアの南西に位置し、代替エネルギーに関連する発電所が存在し、同領域への関心が高いと考えられる。 2030年までにモスクワ市・ロストフ・ナ・ドン市・アドレル市高速鉄道の建設は計画がある。 山口県との連携・協力活動を行っており、様々な分野で日本との連携への関心が高いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年、経済成長率が0.3%であり、日本への輸出額も小さい。
タタルスタン共和国	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が高い。 ロシア連邦投資環境ランキングで2位、経済特区とTORなどの投資誘致制度がよく整備されており、投資家にとって魅力的な地域。 医療やITやロボット開発や教育分野においてはポテンシャルの高い地域。例）大学院の数が検討候補13地域中で最も多い。 モスクワ市・カザン市間の高速鉄道設備が計画。 石油生産と石油化学製品（水素も含め）を生産している地域で、低炭素関連の会社も存在することから、同領域への関心が高いと考えられる。 タタルスタン共和国は日本との経済関係をはじめ、様々な分野で日本との協力を行っているが、日本の地域と連携関係をまだ結んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ぶどう生産はなく、ワインの生産はあるが生産量は多くない。
ロストフ州	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、経済成長率、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が高い。 農業においてはぶどう生産量へ注力している地域。 南西地域である優位性を活かし、観光業に注力。 日本からの輸入額は検討候補13地域の中で最も大きく、日本との関係促進を期待している地域。 2030年までにモスクワ市・ロストフ・ナ・ドン市・アドレル市高速鉄道の建設が計画。 大学数では検討候補13地域中で最も多く、ロボット開発に関連する企業も存在。 ロシアの南西に位置し、代替エネルギーに関連する発電所、水素関連企業が存在、同領域への関心が高いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本からの輸入額は大きいですが、日本への輸出額が小さい。 ぶどう生産はしているが、ワイン生産量は少ない。 海外旅行者数は少ない。

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：各地域の評価概要（#2/4）

■ 各地域の総評

州・地方名	連携対象地域として評価が高い点	連携対象地域として評価が低い点
ニジニ・ノヴゴロド州	<ul style="list-style-type: none"> ・経済成長率が検討候補13地域のうち最も大きい。 ・日本への輸出額は大きく、検討候補13地域のうちに3番目。 ・インフラ整備が進んでおり、アスファルト舗装が改善されている道路の割合が高く、高速鉄道設備も進んでいる。 ・自動車産業関連地域であるため、日本との関係があり、その促進に期待がある。 ・ロボット開発分野における企業が存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本への輸出額は大きいですが、日本からの輸入額は小さい。 ・ぶどう生産・ワイナリーはあるが、ぶどう生産量とワイン生産量は小さい。 ・低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）は無し。 ・豊富な歴史のある地域にもかかわらず、海外旅行者数が少ない。
バシコルトスタン共和国	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎経済指標（GDP、経済成長率、人口、投資誘致総額など）が高い。 ・ロシア連邦投資環境ランキングで5位を占め、経済特区とTORなどの投資誘致制度がよく整備されているため、投資家にとっては魅力的な地域。 ・地理的に、代替エネルギー利用が増加しており、水素関連企業も存在。 ・経済特区の数（優先的 socioeconomic 発展区域（TOR）を含む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう生産・ワイナリーがあるが、ぶどう生産量とワイン生産量は小さい。 ・豊富な歴史と自然のある地域にもかかわらず、海外からの訪問客数は少ない。 ・アスファルト舗装が改善されているある道路の割合が50%以下であり、高速鉄道設備計画はない。
サマラ州	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車産業の地域。Renault・日産がAvtoVazと資本提携関係にあり、日本からの輸入額は大きい（検討候補13地域のうち2番目）。 ・低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）があるが、その他の地域と比較して代替エネルギーの使用と発展が遅れている。 ・アスファルト舗装が改善されている道路の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本への輸出額は大きいですが、日本からの輸入額は小さい。 ・ぶどう生産・ワイナリーはあるが、ぶどう生産量とワイン生産量が小さい。 ・高速鉄道設備計画は無い。
ヴォロネジ州	<ul style="list-style-type: none"> ・投資誘致総額で検討候補13地域のうち4番目。 ・アスファルト舗装が改善されている道路の割合が80%を超え、高速鉄道設備計画もある。 ・日本との関係が8項目協力プランに基づきよく開発されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 ・日本との協力が進んでいる一方、貿易額が検討候補13地域中で最も小さい地域。 ・ロシア連邦投資環境ランキング対象となっていない。 ・ぶどう生産・ワイナリー分野はない。

出所）各種資料よりNRI作成

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：各地域の評価概要（#3/4）

■ 各地域の総評

州・地方名	連携対象地域として評価が高い点	連携対象地域として評価が低い点
ヴォルゴグラード州	<ul style="list-style-type: none"> ロボット開発分野が発展し、ロボット開発関連企業が存在。 代替エネルギー関連の発電所と水素関連企業が存在。 アスファルト舗装が改善されている道路の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 日本からの輸入額が最も小さい地域の一つ。 ロシア連邦投資環境ランキングには含まれていない。 ぶどう生産はなく、ワインの生産はあるが生産量は少ない。 高速鉄道設備計画は無い。 経済特区（優先的社会経済発展区域（TOR）を含む）は無い。
スタヴロポリ地方	<ul style="list-style-type: none"> ぶどう生産・ワイナリーがあり、ワイン生産量が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 ロシア連邦投資環境ランキングには含まれていない。 ロボット開発関連企業は無い。 高速鉄道設備計画は無い。 経済特区（優先的社会経済発展区域（TOR）を含む）は無い。 日本との関係は特に無い。
ペルミ地方	<ul style="list-style-type: none"> 輸出額で検討候補13地域のうち、4番目の地域。 日本への輸出額が検討候補13地域のうち最も多い地域。 ロボット開発分野があり、よく知られているロボット開発関連企業が存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ロシア連邦投資環境ランキングには含まれていない。 ぶどう生産・ワイナリー分野は無い。 低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）は無い。 州・地方の訪問人数が少ない。 アスファルト舗装が改善されている道路の割合が小さい。 高速鉄道設備計画は無い。
オレンブルク州	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電所の数が検討候補13地域中で最も多い地域の一つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 ロシア連邦投資環境ランキングには含まれていない。 ワイン生産は無い。 ロボット開発分野は無い。 州・地方の訪問人数と海外旅行者数が少ない。 アスファルト舗装が改善されている道路の割合が50%以下。 高速鉄道設備計画は無い。

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

13地域の総合評価結果：各地域の評価概要（#4/4）

■ 各地域の総評

州・地方名	連携対象地域として評価が高い点	連携対象地域として評価が低い点
ベルゴロド州	<ul style="list-style-type: none"> 日本への輸出額で2番目の地域である。 アスファルト舗装が改善されている道路の割合が高い。 高速鉄道設備計画はあり。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 大学・学院の数で検討候補13地域中で最も少ない地域である。 ぶどう、ワイン生産は無い。 ロボット開発関連企業は存在しない。 低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）は存在しない。 州・地方の訪問人数と海外旅行者数が検討候補13地域中で最も少ない。 日本との関係が特に無い。
サラトフ州	<ul style="list-style-type: none"> ロボット開発分野がある。 低炭素・水素関連企業（代替エネルギー）がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎経済指標（GDP、人口、輸出入額、投資誘致総額など）が低い。 輸出入額は検討候補13地域中で最も少ない。 ロシア連邦投資環境ランキングには含まれていない。 ロボット開発関連企業は存在しない。 海外からの訪問客数が検討候補13地域中で最も少ない。 高速鉄道設備計画は無い。 日本との関係は特に無い。

出所）各種資料よりNRI作成

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

特定項目での調査結果概要：医療体制

- ロシアでは国立・州立等の公共医療機関において全国民が無料で医療サービスを受けている。そのため、ロシアの国民は強制加入医療保険（OMS）を保有。
- バシコルトスタン共和国、ニジニ・ノヴゴロド州やクラスノダール地方は病院数が多い。
- 総合診療所が多い地域は、タタールスタン共和国とロストフ州ペルミ地方。
- 医者・介護看護師の人数はクラスノダール地方、タタールスタン共和国やバシコルトスタン共和国が多い。

各地方・州における医療機関の統計（2019年）

州・地方名	病院数	総合診療所	医者・看護師の数 (千人)
タタールスタン共和国	102	624	59.9
クラスノダール地方	143	340	75.3
バシコルトスタン共和国	149	400	59.7
サマラ州	91	439	45.2
ロストフ州	131	509	52.6
ニジニ・ノヴゴロド州	136	200	50
ペルミ地方	77	448	39.2
オレンブルク州	82	n/a	32.3
ヴォロネジ州	77	119	37.7
ヴォルゴグラード州	88	394	35.5
ベルゴロド州	42	161	22.7
スタヴロポリ地方	83	346	40.6
サラトフ州	102	368	38.9

出所) 各種資料よりNRI作成

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

特定項目での調査結果概要：主要な食品の消費性向とワイン製品の小売販売量

- 果物とベリーの消費量は、クラスノダール地方、タタルスタン共和国やヴォロネジ州が多い。
- 肉および肉製品の消費量が多い地域は、ヴォロネジ州、ベルゴロド州、クラスノダール地方である。
- ワイン製品の小売販売量は、特に他の地方に比較してクラスノダール州が多い。

各地方・州における主要な食品の消費量とワイン製品の小売販売量（2019年）

州・地方名	卵および卵製品の消費量、(個/年間一人当)	パン製品の消費量 (Kg/年間一人当)	果物とベリーの消費量* (Kg/年間一人当)	砂糖の消費量** (Kg/年間一人当)	植物油の消費量*** (Kg/年間一人当)	野菜や食用のウリの消費量**** (Kg/年間一人当)	肉および肉製品 (カテゴリIIの内臓肉および生脂肪を含む)の消費量 (Kg/年間一人当)	牛乳と乳製品の消費量 (Kg/年間一人当)	ジャガイモの消費量***** (Kg/年間一人当)	ワイン製品の小売販売量、(千デカリットル)
タタルスタン共和国	309	121	78	43	17.4	92	81	359	134	1,969.5
クラスノダール地方	330	139	95	50	17.7	132	87	229	70	4,373.5
バシコルトスタン共和国	302	121	42	37	15.3	76	78	301	91	1,931.6
サマラ州	286	110	67	38	13.5	115	66	241	93	2,357.8
ロストフ州	338	105	68	41	15.3	139	74	257	65	2,221.9
ニジニ・ノヴゴロド州	284	108	60	41	15.4	83	81	238	103	3,159.2
ペルミ地方	242	111	56	30	12.5	87	63	230	65	1,813.8
オレンブルク州	314	120	42	35	20.4	158	70	301	63	1,201.5
ヴォロネジ州	344	133	75	51	16.1	128	95	273	105	1,707.5
ヴォルゴグラード州	311	117	65	33	11.8	183	75	198	95	1,548.2
ベルゴロド州	326	139	62	46	13.7	111	96	259	117	603.6
スタヴロポリ地方	287	133	49	45	19.0	134	82	202	70	1,284.6
サラトフ州	318	104	56	29	20.3	106	62	232	57	1,383.6

出所) 各種資料よりNRI作成

*) 新鮮な果物やベリーとして加工製品を含む

***) お菓子を砂糖として含む

***) 植物油のある食品も含む

****) 加工品を生鮮な野菜や食用のウリとして含む

*****) 加工品を生ジャガイモとして含む

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

特定項目での調査結果概要：投資誘致の際の各州・地方政府による注目の高い分野

■ 投資を誘致する際、各州・地方政府は特に農業や製造業、ITとイノベーション並びに観光業に注力。

各地方・州政府による注目の高い投資分野

州・地方名	投資誘致の際の各州・地方政府による注目の高い分野		
タタルスタン共和国	①化学および石油化学産業 ②機械工学と金属加工 ③情報技術と電気通信（IT）	④農業 ⑤建設 ⑥医療・医学及び薬学	⑦サービス及び観光業 ⑧科学的発展
クラスノダール地方	①農業（ワインを含む） ②製造業	③物流 ④観光業	⑤IT ⑥代替エネルギー
バシコルトスタン共和国	①製造業（石油精製、石油化学） ②石油生産	③物流 ④建築・建設	⑤農業 ⑦観光業
サマラ州	①製造業：自動車、石油化学、電気機器、機械工学)	③農業 ④医療と関連の技術	⑤IT
ロストフ州	①農業 ②製造 ③建設とインフラ開発	⑤情報技術と電気通信（IT） ⑥物流 ⑦観光業	⑧エネルギー関連（代替エネルギーを含む） ⑨軽工業
ニジニ・ノヴゴロド州	①自動車製造 ②造船 ③化学工業	⑤教育、科学、イノベーション ⑥スマートシティ	⑦農業 ⑧観光業
ペルミ地方	①冶金産業 ②化学工業	③木材産業 ④軽工業	⑤機械工学
オレンブルク州	①物流 ②農業	③石油・ガス関連の業界 ④採鉱	⑤代替エネルギー
ヴォロネジ州	①農業 ②建設	③製造業（金属産業、化学工業、原子力産業、宇宙開発、機械工学など）	④技術開発 ⑤観光業
ヴォルゴグラード州	①農業 ②建設	③製造業（冶金、化学工業機械工学など）	⑤観光業 ⑥物流
ベルゴロド州	①農業とその関連のイノベーション	②製造業（機械工学、金属加工、建設、医薬品）	③インフラ開発 ④IT
スタヴロポリ地方	①農業	②製造業	③観光業
サラトフ州	①イノベーションと科学 ②エネルギー・資源開発 ③石油化学	④機械工学 ⑤建設 ⑥農産物加工	⑦観光業 ⑧情報技術（IT） ⑨天然資源の効率的な使用 ⑩農業

連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定



調査結果の総合評価に基づく連携対象有力候補地域

- 総合評価結果に基づき、特に山梨県との連携の可能性が考えられる4地域を、下記の通り連携対象有力候補として提案致します。
- 連携対象有力候補4地域の特性
 - 各地域共に観光関連や、文化・大学間交流の分野において連携関係構築の可能性が考えられる。
 - ぶどうとワインの生産においては有力なクラスノダール地方及びロストフ州が連携関係構築の可能性が考えられる。
 - IT技術分野ではヴォロネジ州以外の各地域、ロボット開発分野ではタートルスタン共和国、代替エネルギー分野ではクラスノダール州、ロストフ州が有力であり、連携関係構築の可能性が考えられる。
 - 日露協力のモデル都市であるヴォロネジ州は、日本との関係も深く、農産品・ワインでの連携関係構築の可能性が考えられる。



連携対象有力候補の連携が期待されるポイント

クラスノダール地方	タートルスタン共和国	ロストフ州	ヴォロネジ州
<ul style="list-style-type: none">• 農業におけるぶどうとワインの生産• 観光業におけるインフラ開発、海外観光客誘致や経験• IT技術開発• 代替エネルギーの開発・発展（特に太陽光発電所）• 物流• 文化交流、大学間の交流	<ul style="list-style-type: none">• ITとロボット開発• 観光業におけるインフラ開発、海外観光客誘致や経験• 医療における協力• 文化交流、大学間の交流	<ul style="list-style-type: none">• 農業におけるぶどうとワインの生産• 農業機械とロボット技術• 代替エネルギーの開発・発展• 観光業におけるインフラ開発、海外観光客誘致や経験• 文化交流、大学間の交流	<ul style="list-style-type: none">• 日露都市環境分野のモデル都市としての協力関係• 観光業におけるインフラ開発、海外観光客誘致や経験• 果実・ベリー並びに肉類の消費が多いことからの農産品需要、ワイン需要• 文化交流、大学間の交流

総合評価に基づく有力候補地域とそれらの歴史・文化 (#1/2)

地方・州名	歴史の変遷	文化・観光関連の基礎情報	
	<p>クラスノダール地方</p>	<p>長期に亘り、現在のクラスノダール地方の領土には、アディグ（チェルケス人）とアバゼ人が住んでいた。13世紀、この土地にチェルケシア国家が形成され、当時のロシア並びにオスマン帝国と政治的および経済的協力を積極的に行ってきた。19世紀半ば、コーカサス戦争の結果、領土はロシア帝国の一部となった。1937年9月13日、ソビエト連邦中央執行委員会の命令により、クラスノダール市の中心にクラスノダール地方が成立された。2014年には、第22回冬季オリンピックがソチ市で開催された。</p>	<p>クラスノダール地方には、博物館・美術館が多数存在する。主な研究機関、大学、図書館、美術館・博物館は、クラスノダール市、アルマビル市、エイスク市、ノヴォロシースク市にある。</p>
	<p>タタールスタン共和国</p>	<p>6世紀から10世紀まで現在のタタールスタンの領土は、トルコのカガナートとハザールのカガナートの強い影響を受けていた。10世紀にヴォルガ・ブルガールという国は形成されたが、1220～40年代にモンゴル軍によって征服された。ジョチ・ウルスの一部として、カザン市が設立・成長し、プレドカミエ地域（カマ川の北側地域）で人口が増加した。15世紀半ば～1552年、タタールスタン領土の大半はカザン・ハン国の一部であった。イヴァン4世が組織したカザンキャンペーン中に、カザン・ハン国はロシア帝国に征服された。16世紀後半からロシア人の流入が急増し、人口のロシア化政策が積極的に進められた。1708年から1920年まで、現代のタタールスタン共和国の大半はカザン県の一部であった。カザン大学は1804年に開校し、タタールスタンにおける科学と教育の発展に貢献してきた。TASSR（タタール自治ソビエト社会主義共和国）は1920年に設立された。1920年代、TASSRは科学（Academcenter）、教育、文化、芸術の分野で組織が創設され、1930年代に様々な大学が開校され、国家公務員の育成が始まっていた。20世紀の半ばから農業とともに、産業が活発に発展した。タタールスタン共和国をロシア連邦の一部とするために、1994年2月15日、ロシア連邦とタタールスタン政府は、「管轄区域の境界周辺における事案に関する権限…」を調印した。1990年代の困難な経済状況の中で、タタールスタンは科学的および産業のポテンシャルを維持することができた。</p>	<p>主要な科学機関、大学、図書館、博物館（タタールスタン共和国では60以上）はカザン市にある</p>

総合評価に基づく有力候補地域とそれらの歴史・文化 (#2/2)

地方・州名	歴史の変遷	文化・観光関連の主な情報
 <p data-bbox="461 560 584 592">ロストフ州</p>	<p>ドン・コサックによるロシア帝国の承認後（16世紀後半）、現在のロストフ地域の領土はロシアの一部となった。オスマン帝国との戦争により、領土は大きく変化した。また、1917年から1922年の内戦の頃、ロストフ州の領土は、敵軍との衝突の震源地の1つになっていた。1937年9月13日にソビエト連邦最高会議の命令によって州となった。大祖国戦争の時、1941年から1943年にかけてのこの地域での戦争中に、ドイツ軍と赤軍の部隊との間で戦闘があり、かなりの部分がドイツ軍により占領された。</p>	<p>ロストフ州には、1つの連邦博物館・美術館と15の地方博物館・美術館がある。主な研究機関、大学、図書館、美術館・博物館は、ロストフ・ナ・ドヌ市、アゾフ市、ヴォルゴドンスク市、ノヴォチェルカスク市、タガンログ市にある。</p>
 <p data-bbox="450 922 600 954">ヴォロネジ州</p>	<p>かつて、現在のヴォロネジ州の領土は、リャザン公国の一部であった。1585年にヴォロネジ市が成立し、住民は地域の北部に定住し始めた。現在のヴォロネジ州は、1934年6月13日に成立した。1957年11月19日、地域の境が設定された。大祖国戦争中、ヴォロネジ地域の一部はドイツ軍に占領され、1943年12月に解放された。産業は1948年に、農業は1950年代半ばに回復した。</p>	<p>ヴォロネジ州には21か所の博物館・美術館と8か所の劇場がある。主要な大学、図書館、美術館、科学機関がヴォロネジ市にある。</p>

1. 連携有望候補地域の選定
 - 1) 連携候補地域の抽出とスクリーニングの方法
 - 2) 連携検討候補13地域の抽出
 - 3) 連携候補検討13地域の一次調査結果・有力候補地域の選定

2. 連携有望候補地域4地域のヒアリング調査
 - 1) 連携有望候補地域4地域の連携分野関連調査
 - 2) 連携対象有力候補地域関連組織へのヒアリング調査に基づく評価

3. 連携有望候補地域の結論

追加デスクトップ調査

デスクトップ調査項目の整理

課	ご要望事項	デスクトップ調査	ヒアリング調査
産業政策課	日露地方自治体のビジネス交流における成功事例。	● 日露地域間交流事例	
【ビジネス交流の姿】 【山梨県産品の需要機会】	実現可能性がある本県とロシアとのビジネス交流の取り組み案。		● デスクトップ、ヒアリング調査を踏まえ議論
	山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性がある製品はどのようなものが考えられるか。	● 地域ごとの所得構成 ● ロシア全体（可能範囲で4地域別）のワイン需要・生産・輸出入情報（金額と量） ● ロシア全体（可能範囲で4地域別）のぶどう、ももの生産、輸出入情報（国別） ● 日本からの日本酒、果物、ジュエリー、織物の輸入状況	● （農産物の輸入に関する地域としての関心）
	山梨県産の製品を購入可能な人口は、ロシアの各地域にどれほどいるのか。将来的な可能性はどうか。	● モスクワ、サンクト、地方のハイブランドチェーンストアに関する情報（輸入品を扱う可能性のある小売）	
販売・輸出支援課	輸出で99%を占めるももとぶどうの輸出可能性。 ・高価格帯輸入青果物市場との可能性関連情報 ・輸出での、港や空港での検査等の取扱の様子 【例】 ✓ 所得構成（購買可能層のボリューム等） ✓ 高価格帯青果物マーケットの有無やその状況 ✓ 高価格帯青果物を扱う現地商流（輸入・卸売・小売）の有無・状況		
成長産業推進課	本県は中小企業がほとんどで、多くは部品を作る下請けのため、この場合に、どのような連携の可能性あるのか。	● 日本からの工業製品輸入状況	● 特定・具体的産業における協業の可能性
【工業製品の輸出機会、工業分野での連携可能性検証】			

追加デスクトップ調査

デスクトップ調査項目の整理

課	ご要望事項	デスクトップ調査	ヒアリング調査
観光振興課 【観光の現地プロモーションに資する情報】	ロシア人の海外旅行に関する手配の状況（旅行代理店等への手配、オンライン旅行サイト等（具体的に）を通じた個人手配が多いかなど）。	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシアでの海外旅行手配状況（代理店手配、個人手配の多寡）：ロシア全体、可能な範囲で4地域別 ● 旅行代理店業界の売上推移（努力目標） 	
	ロシアにおいては、訪日教育旅行（修学旅行）の習慣はあるのか。ある場合、山梨のプロモーション先として適切な場所はどこか（旅行会社、学校など）。	（回答）修学旅行という習慣はない。日露経済協力の範囲で、経産省、総務省、中小企業相などにおいて、研修目的での訪日旅行が行われている。	
	山梨のプロモーション先候補としてのオンライン旅行サイト、旅行サイトやガイドブックなどの旅行情報媒体。	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシアにおける海外旅行情報（情報収集、予約など）：経験により作成 <ul style="list-style-type: none"> ✓ よく使うオンライン旅行サイト ✓ よく見る旅行サイト、旅行ガイドブック 	

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

各候補地域においては約42～44%の人口が1.9万から4.5万RUBの平均月収を得ている

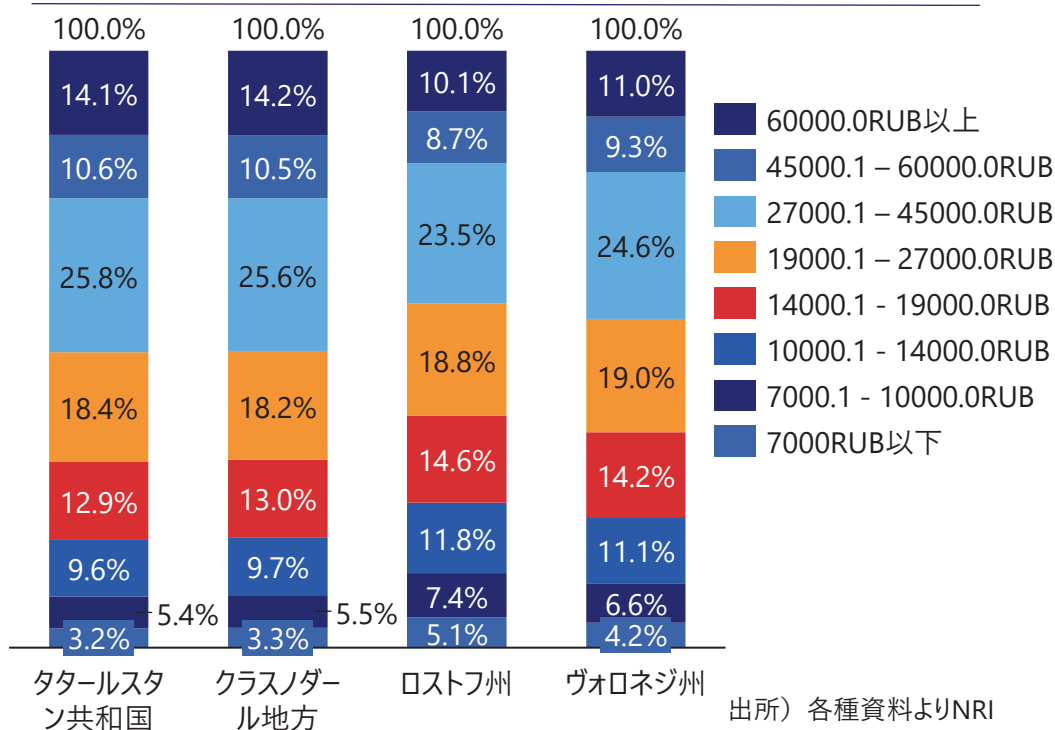
- 候補地域の中で、タタールスタン共和国では平均月収、購買力共に最大と分析できる。
- ヴォロネジ州と比べてロストフ州では名目賃金が高いにもかかわらず、一人当たりの平均収入と平均年金の指標でヴォロネジ州がロストフ州を上回っている。

ロシア国民の収入に関する基礎統計データ（2019年）

州・地方名	平均名目賃金 (ルーブル)	一人当たりの平均収入 (月額、ルーブル)	平均年金 (ルーブル)
タタールスタン共和国	37,418.3	35,707	14,571.9
クラスノダール地方	36,133.0	35,673	13,037
ロストフ州	33,757.0	30,752	12,845
ヴォロネジ州	33,690.0	32,022	13,137

出所) 各種資料よりNRI

一人当たりの平均月収による人口構成（2019年、%）



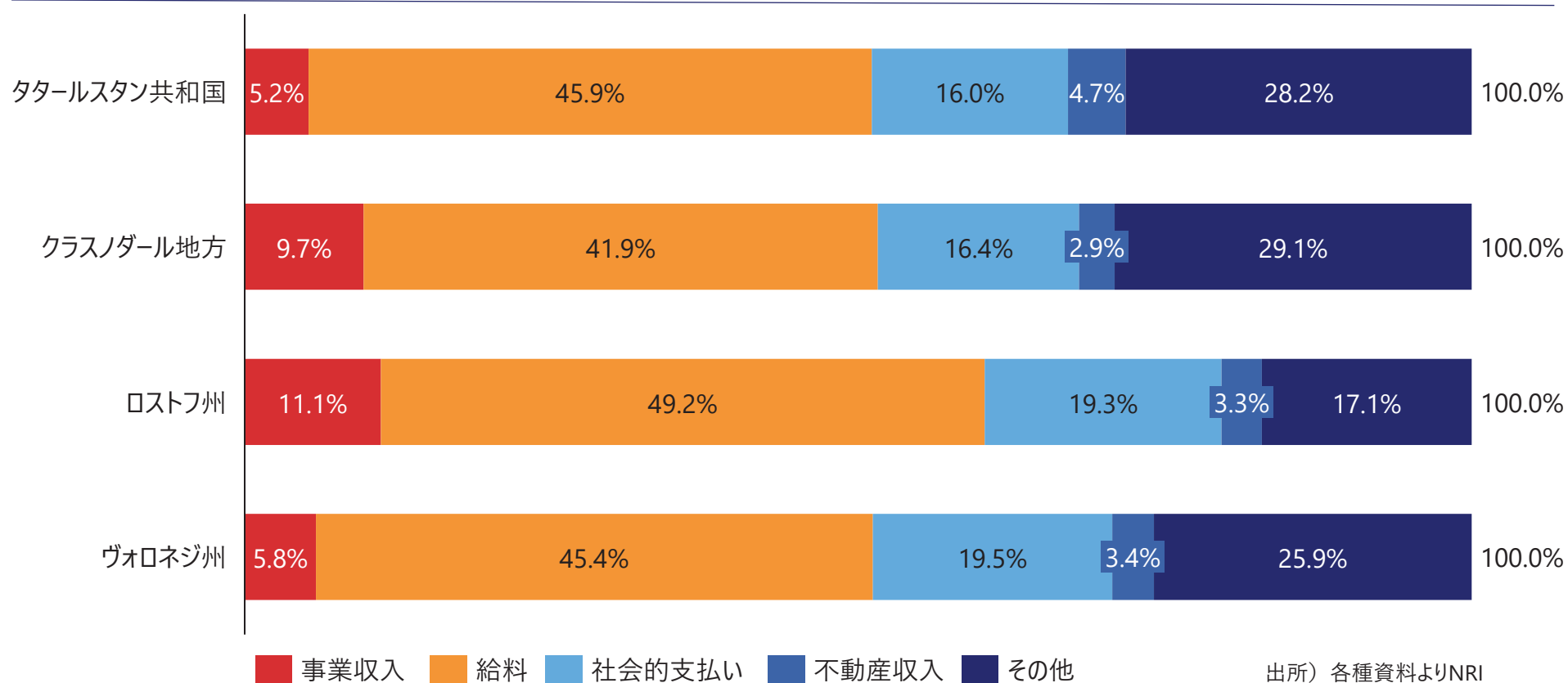
- 各候補地域においては約42%～44%の人口が1.9万から4.5万RUBの平均月収を得ている。
- クラスノダール地方とタタールスタン共和国では、4.5万RUB以上を得ている人口の比率は20.7%であり、そのうち、6万RUB以上の月収を得ている人口は14.2%と14.1%である。

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

各候補地域の所得構成においては給料が約41.9%～49.2%を占める。購買力ではタタールスタンが最も高い。

- ロストフ州においては、他の地域と比較して、「その他」の収入の割合がより少ないため、事業収入（11.1%）と共に社会的支払い（*）（19.3%）はより大きいシェアを持っている。

人口の所得構成（2019年、%）

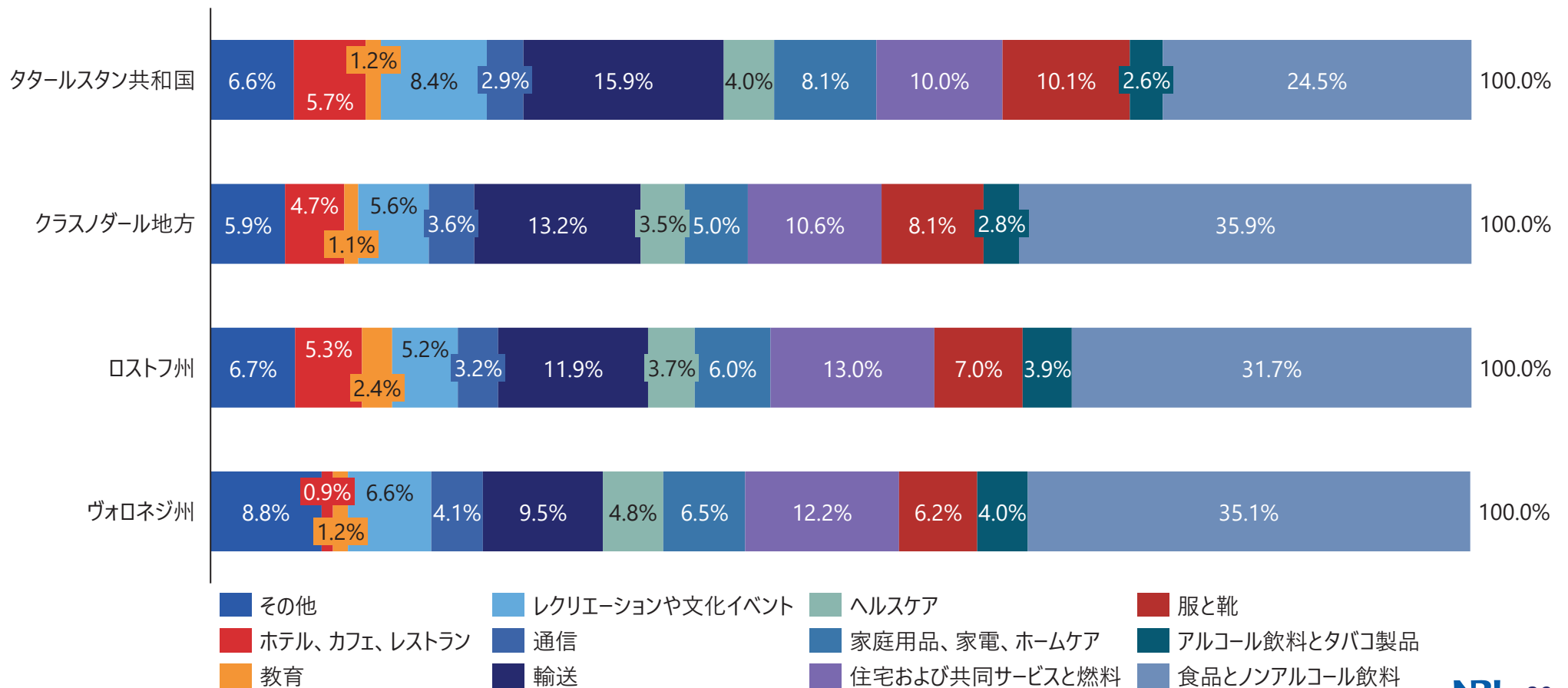


(*) 治療、レクリエーション、旅行、雇用に関連する従業員への社会的給付。例えば、雇用終了時の退職金、中途解雇に伴い発生した費用、年金受給者への追加払い、従業員への任意保険に関する保険料、従業員への医療サービスに関する費用、従業員およびその家族へのレクリエーションに係る支払い 等

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について 各候補地域の支出構成では食品とノンアルコール飲料が圧倒的なシェアを持っている

- 各地域では食品とノンアルコール飲料への支出は他の支出項目と比較して最大（24.5%～35.1%）である。
- アルコール飲料とタバコ製品への支出は2.6%～4.0%に過ぎない。

人口の支出構成（2019年、%）



出所）各種資料よりNRI

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

ももやぶどうが「南の国」の果物・ベリーであるため、ロシアは輸入国である。

ワインについては、輸出額が約990万USDである一方で、輸入額は11億6千万USDと大きい。

- クラスノダール地方では国内の73.5%のぶどうが生産されている。候補地域の中でクラスノダールは、ぶどう、もも、ワインの輸入量が最大。
 - クラスノダール地方における8か所の海港があるため。
- ロシアにおけるももの生産量が3万～5万tであり、2019年、もも（ネクタリンを含む）の輸出全体のうち（約54万USD）、約38.2%はロストフ州からの輸出。
- クリミア半島を除き、ロシアにおけるワインの最大産地はクラスノダール地方。この地域では、2019年に約1,413万デカリットルのワインが生産。輸出額においても、57.7%を占める。
- 2019年の時点で、日本から候補地域へのぶどう、もも、ワインの輸入は無かった。

ぶどう、もも、ワインの生産と輸出入（2019年）

州・地方名	生産量 (t/千デカリットル)	輸出 (USD)	輸入 (USD)
ぶどう、2019年			
タタールスタン共和国	0	4,325	2,913,803
クラスノダール地方	498,000	152,021	83,318,475
ロストフ州	30,582	532,381	466,190
ヴォロネジ州	0	1,005	0
ロシア	678,000	2,157,307	371,359,386
もも（ネクタリンを含む）、2019年			
タタールスタン共和国	n/a	0	209,240
クラスノダール地方	n/a	1,753	45,145,006
ロストフ州	n/a	206,486	536,370
ヴォロネジ州	n/a	0	35,545
ロシア	30,000-50,000	541,231	214,015,943
ワイン、2019年			
タタールスタン共和国	0	0	114,434
クラスノダール地方	14,122.6	5,710,278	69,522,552
ロストフ州	223.5	105,365	343,168
ヴォロネジ州	0	0	0
ロシア	32,808.2	9,898,206	1,159,974,959

出所) 各種資料よりNRI

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるぶどうの輸入（国別）、2019年

地域名	国名	輸出額 (USD)	
タタールスタン共和国	アゼルバイジャン	16,654	
	インド	255,195	
	イラン	1,339,078	
	不明	778,200	
	トルコ	41,524	
	ウズベキスタン	483,152	
クラスノダール地方	アゼルバイジャン	149,893	
	アルゼンチン	103,068	
	アルメニア	48,780	
	ベラルーシ	15,101	
	エジプト	11,762,048	
	インド	11,879,149	
	イラン	1,053,801	
	カザフスタン	48,000	
	中国	1,818,670	
	レバノン	225,926	
	モルドバ	2,821,630	
	不明	837,501	
	ペルー	1,488,983	
	タジキスタン	27,000	
	トルコ	46,251,453	
	ウズベキスタン	1,635,539	
	チリ	2,524,528	
	南アフリカ共和国	627,405	
	ロストフ州	イラン	51,765
		トルコ	11,073
ウズベキスタン		403,352	

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるぶどうの輸出（国別）、2019年

地域名	国名	輸出額（USD）
タタルスタン共和国	ベラルーシ	4,325
クラスノダール地方	アブハジア	28,895
	ベラルーシ	3,113
	イスラエル	0
	カザフスタン	45,596
	キルギスタン	709
	ウクライナ	73,708
ロストフ州	アブハジア	137
	カザフスタン	42
	ウクライナ	532,202
ヴォロネジ州	カザフスタン	1,005

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるものの輸入（国別）、2019年

地域名	国名	輸入額（USD）
タタルスタン共和国	トルコ	87,121
	ウズベキスタン	122,119
クラスノダール地方	アゼルバイジャン	2,259,758
	アルメニア	742,253
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	381,967
	ジョージア（旧グルジア）	22,196
	エジプト	1,602,992
	ヨルダン	126,319
	イラン	112,298
	北マケドニア共和国	938,417
	モルドバ	50,270
	セルビア共和国	1,571,307
	トルコ	36,108,867
	ウズベキスタン	920,851
	チリ	199,707
	南アフリカ共和国	107,804
	ロストフ州	アゼルバイジャン
エジプト		25,748
ヴォロネジ州	トルコ	35,545

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるものの輸出（国別）、2019年

地域名	国名	輸出額（USD）
クラスノダール地方	ウクライナ	115
	キルギスタン	1,638
ロストフ州	ウクライナ	206,486

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるワインの輸入（国別）、2019年

地域名	国名	輸入額（USD）
タタールスタン共和国	ドイツ	8,023
	スペイン	4,440
	イタリア	33,895
	ラトビア	3,426
	ポルトガル	5,719
	英国	134
	米国	2,137
	フランス	54,727
	チリ	1,766
	南アフリカ共和国	167
クラスノダール地方	アブハジア	16,890
	オーストラリア	138,246
	オーストリア	478,500
	アゼルバイジャン	136,228
	アルゼンチン	1,238,979
	アルメニア	427,001
	ブルガリア	991,779
	ドイツ	837,204
	ジョージア（旧グルジア）	6,195,464
	スペイン	26,534,221
	イタリア	6,572,222
	北マケドニア共和国	67,081
	モルドバ	2,735,791
	ニュージーランド	249,459
	ポルトガル	2,623,997

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるワインの輸入（国別）、2019年

地域名	国名	輸入額（USD）
クラスノダール地方	セルビア共和国	1,155,700
	EU諸国	74,427
	フランス	5,366,671
	チリ	2,354,540
	南アフリカ共和国	11,328,152
ロストフ州	オーストリア	4,471
	スペイン	311,102
	イタリア	20,452
	フランス	7,143

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
各地域によるワインの輸出（国別）、2019年

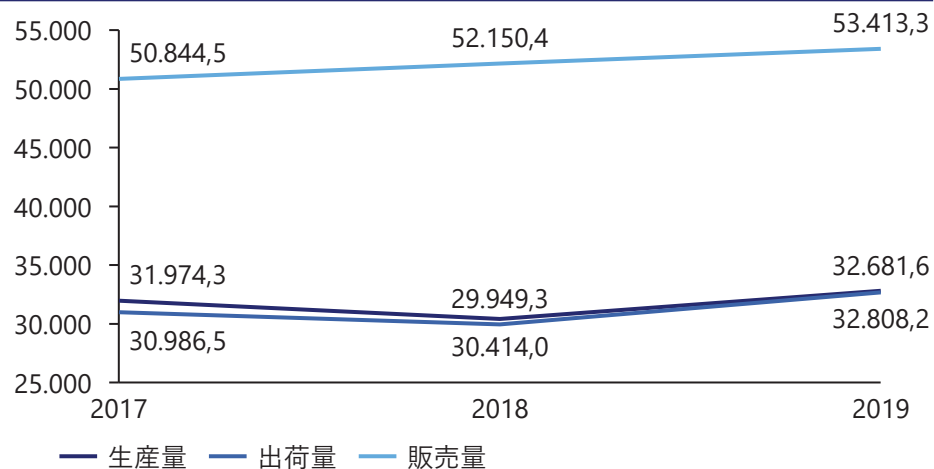
地域名	国名	輸出額（USD）
クラスノダール地方	アブハジア	52,375
	ベラルーシ	373,341
	ベルギー	76,176
	ドイツ	28,287
	イスラエル	108,860
	カザフスタン	596,941
	キルギスタン	76,220
	中国	782,358
	ラトビア	683,276
	マレーシア	4,925
	モルドバ	1,399,079
	ノルウェー	6,139
	シリア	12,130
	英国	41,718
	タジキスタン	48,157
	トルコ	14,541
	ウクライナ	1,249,093
	フランス	44,563
	スイス	52,676
	日本	59,423
ロストフ州	ラトビア	36,954
	トルクメニスタン	27,479
	ウクライナ	39,551
	フランス	1,381

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

2019年ロシアにおけるワイン製品の販売量が出荷量を約25%に上回ったため、輸入拡大の余地はある。

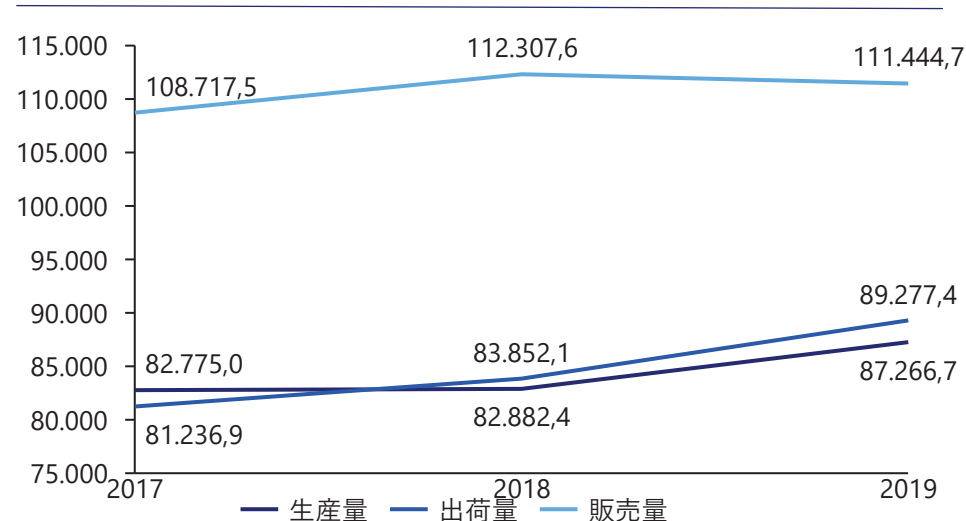
- ロシアにおけるワイン製品、うちワイン及びスパークリングワイン・シャンパンの出荷量は販売量より小さく、輸入に対する余地はある。
 - ワイン製品の販売量が出荷量を約25%
 - ワインの販売量が出荷量を約63.4%
 - スパークリングワイン・シャンパンの販売量が出荷量を約29.7%上回る。
- 2020年版の「Global Compass wine market attractiveness report」によると、ロシアが世界で最も魅力的なワイン市場のTOP10に入った。その主要な理由は、
 - 若年層によるワイン消費量の増加
 - 2019年12月29日、連邦法「ロシア連邦におけるぶどう栽培とワイン生産について（N 468-FZ）」が制定

ワイン生産量・出荷量・販売量（2017～2019年：千デカリットル）

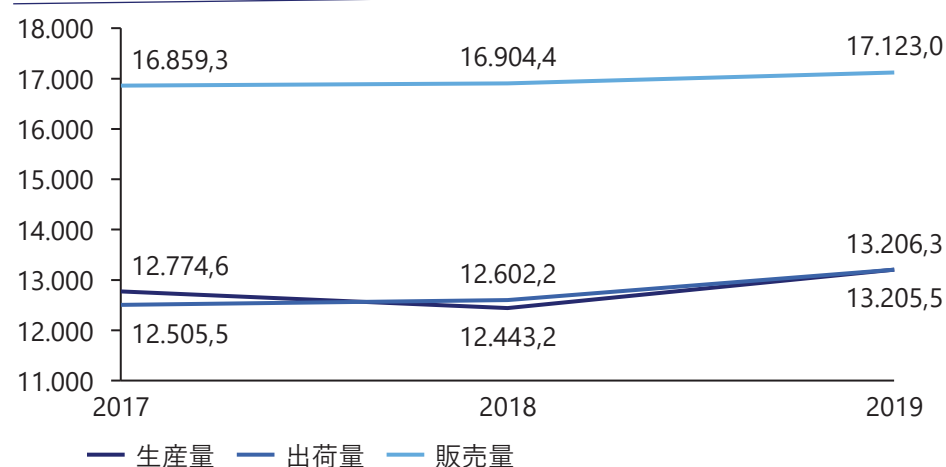


出所) 各種資料よりNRI

ワイン製品の生産量・出荷量・販売量（2017～2019年：千デカリットル）



スパークリングワイン・シャンパン生産量・出荷量・販売量（2017～2019年：千デカリットル）

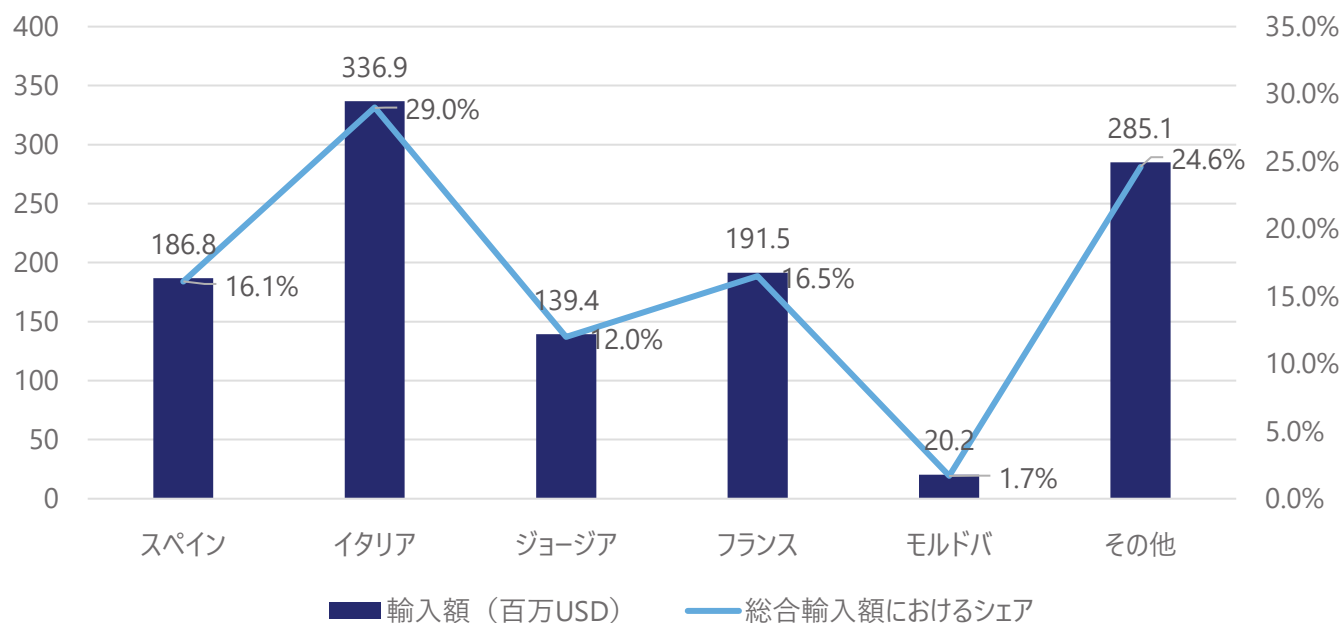


山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
2019年、ロシアのワイン輸入は1159.9百万USD。
ロシアへの最大の輸出国はイタリア、フランス、スペイン、ジョージア（旧グルジア）。

■ ロシアへのワイン輸出国の総輸入に占めるシェアは下記の通り。

- イタリア：29.0%
- フランス：16.5%
- スペイン：16.1%
- ジョージア（旧グルジア）：12.0%
- モルドバ：1.7%

ロシアへのワインの最大の輸出国（2019年）

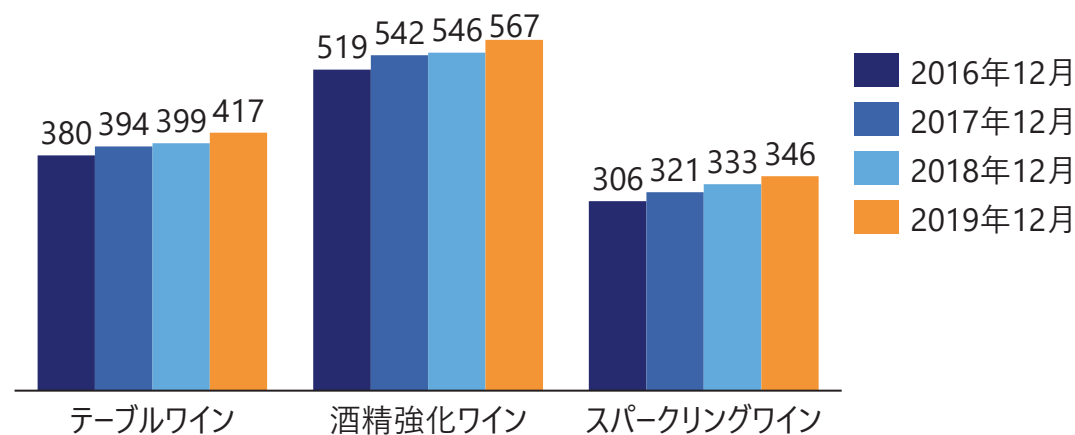


山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

ワインの75%以上が大手小売店で販売されており（金額ベース）、平均販売価格は1本当たり500ルーブル。（2020年版のロシア連邦のワイン市場の状況に関する国家報告書より）

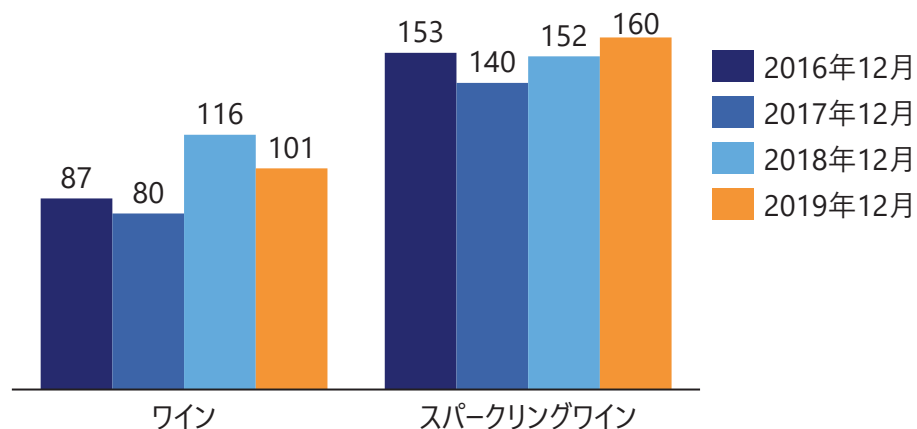
- 2019年、ワインの75%以上が大手小売店で販売（金額ベース）
- 平均販売価格は1本当たり500ルーブル。
- 販売の16%以上が1本600ルーブル以上の価格帯。
- ロシアにおけるワイン製品の消費者物価（RUB/L）は346RUB～567RUB。
- ワイン製品のうちスパークリングワインの消費者物価は最も低かった。（346RUB/L、2019年12月）

ワイン製品の消費者物価（RUB/L）



出所) 各種資料よりNRI

ワイン製品の生産者価格（RUB/L、物品税を除く）



出所) 各種資料よりNRI

- その一方で、酒精強化ワインの消費者物価は最も大きい（567RUB/L）。
- ロシアにおけるスパークリングワインの消費者物価が最も低い一方、生産者価格は最も大きく（160RUB/L）、ロシア国内生産者の利益率は低いと考えられる。
- 一方で2017年比較で、生産量は3.4%増、出荷量は+5.6%増、販売量は+1.5%増加しており、市場が成長していると判断できる。

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

2019年、日本からの「飲料、アルコール及び食酢」の輸入額は約810万USD。

- 2019年、日本からの「飲料、アルコール及び食酢」輸入額は約810万USD、そのうち「エチルアルコール（変性させてないものでアルコール分が80%未満のものに限る）及び蒸留酒、リキュールその他のアルコール飲料」が47.5%のシェアを占めた。

飲料、アルコール及び食酢の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
飲料、アルコール及び食酢	第22類	飲料、アルコール及び食酢	8,107,697
	2202	水（鉱水及び炭酸水を含むものとし、砂糖その他の甘味料又は香味料を加えたものに限る。）その他のアルコールを含有しない飲料（第20.09項の果実又は野菜のジュースを除く。）	1,102,096
	2203	ビール	2,296,294
	2204	ぶどう酒（酒精強化ワインを含むものとし、生鮮のぶどうから製造したものに限る。）及びぶどう搾汁（第20.09項のものを除く。）	319
	2206	その他の発酵酒（例えば、りんご酒、梨酒、ミード及び清酒）並びに発酵酒とアルコールを含有しない飲料との混合物及び発酵酒の混合物（他の項に該当するものを除く。）	699,452
	2208	エチルアルコール（変性させてないものでアルコール分が80%未満のものに限る。）及び蒸留酒、リキュールその他のアルコール飲料	3,852,425

出所）各種資料よりNRI

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

2019年、日本からの「食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮」の輸入額は16,220USDに過ぎなかった

- 2019年、日本からの「食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮」が輸入額は8,107,697USDで、そのうち「かんきつ類の果実（生鮮のもの及び乾燥したものに限る）」と「りんご、梨及びマルメロ（西洋かりん）（生鮮のものに限る）」が91%のシェアを占めた。

果物の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
果物	第8類	食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮	16,220
	0805	かんきつ類の果実（生鮮のもの及び乾燥したものに限る。）	8,377
	0806	ぶどう（生鮮のもの及び乾燥したものに限る。）	0
	0807	パパイヤ及びメロン（すいかを含む。）（生鮮のものに限る。）	0
	0808	りんご、梨及びマルメロ（西洋かりん）（生鮮のものに限る。）	6,376
	0809	あんず、さくらんぼ、桃（ネクタリンを含む。）、プラム及びスローベリー（生鮮のものに限る。）	0
	0814	かんきつ類の果皮及びメロン（すいかを含む。）の皮（生鮮のもの及び冷凍し、乾燥し又は塩水、亜硫酸水その他の保存用の溶液により一時的な保存に適する処理をしたものに限る。）	1,466

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について

2019年、ロシアは日本からの「天然又は養殖の真珠、貴石、半貴石、貴金属及び貴金属を張った金属並びにこれらの製品、身近用模造細貨類並びに貨幣」を約580万USD輸入した

- 2019年、「天然又は養殖の真珠、貴石、半貴石、貴金属及び貴金属を張った金属並びにこれらの製品、身近用模造細貨類並びに貨幣」の日本からの輸入額は約580万USDで、うちジュエリー関連の輸入額は約75万USD。

ジュエリーの輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
ジュエリー	第71類	天然又は養殖の真珠、貴石、半貴石、貴金属及び貴金属を張った金属並びにこれらの製品、身近用模造細貨類並びに貨幣	5,827,334
	7113	身近用細貨類及びその部分品（貴金属製又は貴金属を張った金属製のものに限る。）	507,221
	7115	その他の製品（貴金属製又は貴金属を張った金属製のものに限る。）	216,377
	7116	天然若しくは養殖の真珠又は天然、合成若しくは再生の貴石若しくは半貴石の製品	2,942
	7117	身近用模造細貨類	20,517

出所) 各種資料よりNRI

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
2019年、織物に関連する日本からの輸入額は約1,030万USDを達成した（#1/4）

- 織物に関連する日本からの輸入額は約1,030万USDで、そのうち最大なシェア（78.9%）を占めているのは「合成繊維の長繊維の糸の織物（第54.04項の材料の織物を含む）」である。

織物の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
織物	第50類	絹及び絹織物	18,186
	5007	絹織物	0
	第51類	羊毛、織獣毛、粗獣毛及び馬毛の糸並びにこれらの織物	15,548
	5111	紡毛織物（羊毛製又は織獣毛製のものに限る。）	1,341
	第52類	綿及び綿織物	114,786
	5208	綿織物（綿の重量が全重量の85%以上で、重量が1平方メートルにつき200グラム以下のものに限る。）	29,512
	5209	綿織物（綿の重量が全重量の85%以上で、重量が1平方メートルにつき200グラムを超えるものに限る。）	45,650
	5210	綿織物（綿の重量が全重量の85%未満のもので、混用繊維の全部又は大部分が人造繊維のものうち、重量が1平方メートルにつき200グラム以下のものに限る。）	21,367
	5211	綿織物（綿の重量が全重量の85%未満のもので、混用繊維の全部又は大部分が人造繊維のものうち、重量が1平方メートルにつき200グラムを超えるものに限る。）	138
	5212	その他の綿織物	130

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
2019年、織物に関連する日本からの輸入額は10,298,382USDを達成した（#2/4）

織物の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
織物	第53類	その他の植物性紡織用繊維及びその織物並びに紙糸及びその織物	658
	5309	亜麻織物	0
	5310	第53.03項のジュートその他の紡織用靱皮繊維の織物	0
	5311	その他の植物性紡織用繊維の織物及び紙糸の織物	0
	第54類	人造繊維の長繊維並びに人造繊維の織物及びストリップその他これに類する人造繊維製品	13,924,924
	5407	合成繊維の長繊維の糸の織物（第54.04項の材料の織物を含む。）	8,125,589
	第55類	人造繊維の短繊維及びその織物	32,830,263
	5512	合成繊維の短繊維の織物（合成繊維の短繊維の重量が全重量の85%以上のものに限る。）	11,487
	5513	合成繊維の短繊維の織物（合成繊維の短繊維の重量が全重量の85%未満のものうち、混用繊維の全部又は大部分が綿のもので、重量が1平方メートルにつき170グラム以下のものに限る。）	290
	5514	合成繊維の短繊維の織物（合成繊維の短繊維の重量が全重量の85%未満のものうち、混用繊維の全部又は大部分が綿のもので、重量が1平方メートルにつき170グラムを超えるものに限る。）	244

出所）各種資料よりNRI

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
2019年、織物に関連する日本からの輸入額は10,298,382USDを達成した（#3/4）

織物の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
織物	第58類	特殊織物、タフテッド織物類、レース、つづれ織物、トリミング及びししゅう布	36,561
	5801	パイル織物及びシエニール織物（第58.02項又は第58.06項の織物類を除く。）	1,632
	5804	チュールその他の網地（織つたもの及びメリヤス編み又はクロセ編みのものを除く。）及びレース（レース地及びモチーフに限るものとし、第60.02項から第60.06項までの編物を除く。）	3,204
	5806	細幅織物（第58.07項の物品を除く。）及び接着剤により接着したたて糸のみから成る細幅織物類（ボルダック）	17,619
	第59類	染み込ませ、塗布し、被覆し又は積層した紡織用繊維の織物類及び工業用の紡織用繊維製品	2,559,471
	5903	紡織用繊維の織物類（プラスチックを染み込ませ、塗布し、被覆し又は積層したものに限るものとし、第59.02項のものを除く。）	978,405
	5906	ゴム加工をした紡織用繊維の織物類（第59.02項のものを除く。）	59,758
	5907	その他の紡織用繊維の織物類（染み込ませ、塗布し又は被覆したものに限る。）及び劇場用又はスタジオ用の背景幕その他これに類する物品に使用する図案を描いた織物類	970

出所）各種資料よりNRI

山梨県産製品（ワイン、日本酒、果物、ジュエリー、織物等）のうち、ロシアにおいてニーズや販売の可能性について
2019年、織物に関連する日本からの輸入額は10,298,382USDを達成した（#4/4）

織物の輸入について（全ロシア：2019年）

	HSコード	品名	USD
織物	第60類	メリヤス編物及びクロセ編物	1,001,047
	6001	パイル編物（ロングパイル編物及びテリー編物を含むものとし、メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。）	336,129
	6002	メリヤス編物及びクロセ編物（幅が30センチメートル以下で、弾性糸又はゴム糸の重量が全重量の5%以上のものに限るものとし、第60.01項のものを除く。）	15,011
	6005	たてメリヤス編物（ガルーンメリヤス機により編んだものを含むものとし、第60.01項から第60.04項までのものを除く。）	316,686
	6006	その他のメリヤス編物及びクロセ編物	333,220

出所）各種資料よりNRI

モスクワ、サンクト、地方のハイブランドチェーンストアに関する情報（輸入品を扱う可能性のある小売）

日本の高級な食品を輸入し、販売できるのは高級スーパーであり、うちは最大であるVkusVillが33の地域に店舗を展開。

- ロシアにおいてVkusVillが売上で最大な高級スーパーマーケットであり、その他の高級スーパーマーケットと比べても、進出地域数が最大である。

スーパーマーケット名	会社名（管理会社）	設立年	売上 (2020年、RUB)	ウェブサイト	地域
VkusVill	VKUSVILL, JSC	2012	114,008,445,000	https://vkusvill.ru/	モスクワ市、モスクワ州、サンクトペテルブルク市、ベルグロド州、ブリャンスク州、ヴラジーミル州、ヴォルゴグラード州、ヴォログダ州、ヴォロネジ州、イヴァノヴォ州、タタールスタン共和国、カルーガ州、コストロマ州、クラスノダール地方、クルスク州、リペツク州、ニジニーノヴゴロド州、オリョール州、ペンザ州、ペルミ地方、カレリア共和国、プスコフ州、ロストフ州、リャザン州、サマラ州、サラトフ州、スモレンスク州、タンボフ州、トヴェリ州、トゥーラ州、ウリヤノフスク州、チュヴァシ共和国、ヤロスラヴリ州
Azbuka Vkusa	OOO "GORODSKOI SUPERMARKET"	2002	75,234,120,000	https://av.ru/	モスクワ市、モスクワ州、サンクトペテルブルク市
Globus Gurme	STOLICHNAYA TORGOVAYA KOMPANIYA LLC	2002	1,986,924,000	https://globusgurme.ru	モスクワ市、モスクワ州
Bahetle	OOO "BAKHETLE-1"	1998	6,738,219,000	https://bahetle.com/	タタールスタン共和国、アルタイ地方、モスクワ市、ノヴォシビルスク州
Land	"TC "LAND" LTD CO.	1998/2012	2,126,507,000	https://supermarket-land.ru/	サンクトペテルブルク市
SUPER BABYLON	COMPANY LIMITED "SUPER BABYLON SANKT-PETERBURG", CO LTD "SUPER BABYLON SPB"	1993	87,142,000	https://www.superbabylon.ru/	サンクトペテルブルク市
Tabris (クラスはmiddle+)	OOO "TVK-R"	1998/2007	8,417,045,000	https://www.tabris.ru/	クラスノダール地方

モスクワ、サンクト、地方のハイブランドチェーンストアに関する情報（輸入品を扱う可能性のある小売）

ロシアにおけるVkusVillが最大の高級スーパーであり、33の地域に店舗を展開。

スーパーマーケット名	地方・州名	店舗数	合計
Bahetle	タタールスタン共和国	20	31
	アルタイ地方	1	
	モスクワ市	4	
	ノヴォシビルスク州	2	
Globus Gurme	モスクワ市	2	
	モスクワ州	2	
Azbuka Vkusa	モスクワ市及びモスクワ州	97	104
	サンクトペテルブルク市	7	
SUPER BABYLON	サンクトペテルブルク市	2	2
Tabris (クラスはmiddle+)	クラスノダール地方	15	15
VkusVill (電子商取引 (EC) のための 倉庫・物流センター (Darkstore) を含む)	モスクワ及びモスクワ州	1277	1454
	サンクトペテルブルク市	1	
	ベルグロド州	21	
	ブリャンスク州	6	
	ノヴゴロド州	1	
	ヴラジーミル州	5	
	ヴォルゴグラード州	7	
	ヴォログダ州	3	
	ヴォロネジ州	8	

モスクワ、サンクト、地方のハイブランドチェーンストアに関する情報（輸入品を扱う可能性のある小売）

ロシアにおけるVkusVillが最大の高級スーパーであり、33の地域に店舗を展開。

スーパーマーケット名	地方・州名	店舗数	合計
VkusVill （電子商取引（EC）のための 倉庫・物流センター（Darkstore） を含む）	イヴァノヴォ州	4	1454
	タタールスタン共和国	7	
	カルーガ州	13	
	コストロマ州	2	
	クラスノダール地方	8	
	クルスク州	3	
	リペツク州	3	
	ニジニーノヴゴロド州	6	
	オリョール州	3	
	ペンザ州	3	
	ペルミ地方	2	
	カレリア共和国	4	
	プスコフ州	2	
	ロストフ州	9	
	リャザン州	11	
	サマラ州	8	
	サラトフ州	3	
	スモレンスク州	3	
	タンボフ州	2	
	トヴェリ州	9	
	トゥーラ州	5	
	ウリヤノフスク州	3	
	チュヴァシ共和国	4	
	ヤロスラヴリ州	8	

日本からの工業製品輸入状況

2019年、日本からの工業製品輸入は約8,408百万USD (#1/3)

- 2019年日本はロシアへの工業製品輸出約8,408US百万Dのうち、「車両、航空機、船舶及び輸送機器関連品」という品目の輸出が最大（48.7%）であった。

工業製品の輸入について（全ロシア：2019年）

HSコード	品名	USD
第6部	化学工業（類似の工業を含む。）の生産品	453,181,557
第28類	無機化学品及び貴金属、希土類金属、放射性元素又は同位元素の無機又は有機の化合物	9,821,223
第29類	有機化学品	97,486,886
第30類	医療用品	126,050,977
第31類	肥料	175,387
第32類	なめしエキス、染色エキス、タンニン及びその誘導体、染料、顔料その他の着色料、ペイント、ワニス、パテその他のマスチック並びにインキ	21,295,330
第33類	精油、レジノイド、調製香料及び化粧品類	44,207,675
第34類	せっけん、有機界面活性剤、洗剤、調製潤滑剤、人造ろう、調製ろう、磨き剤、ろうそくその他これに類する物品、モデリングペースト、歯科用ワックス及びプラスターをもととした歯科用の調製品	35,719,908
第35類	たんぱく系物質、変性でん粉、膠着剤及び酵素	2,055,267
第36類	火薬類、火工品、マッチ、発火性合金及び調製燃料	208
第37類	写真用又は映画用の材料	69,412,280
第38類	各種の化学工業生産品	46,956,416

2019年、日本からの工業製品輸入は約8,408百万USD (#2/3)

工業製品の輸入について（全ロシア：2019年）

HSコード	品名	金額（USD）
第7部	プラスチック及びゴム並びにこれらの製品	656,981,552
第39類	プラスチック及びその製品	151,597,882
第40類	ゴム及びその製品	505,383,670
第16部	機械類及び電気機器並びにこれらの部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像及び音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品及び附属品	2,516,247,285
第84類	原子炉、ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品	1,857,642,806
第85類	電気機器及びその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像及び音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品及び附属品	658,604,479
第17部	車両、航空機、船舶及び輸送機器関連品	4,092,813,955
第86類	鉄道用又は軌道用の機関車及び車両並びにこれらの部分品、鉄道又は軌道の線路用装備品及びその部分品並びに機械式交通信号用機器（電気機械式のものを含む。）	420,504
第87類	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品	3,996,451,558
第89類	船舶及び浮き構造物	95,941,893

日本からの工業製品輸入状況

2019年、日本からの工業製品輸入は約8,408百万USD (#3/3)

工業製品の輸入について（全ロシア：2019年）

HSコード	品名	USD
第18部	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器、医療用機器、時計及び楽器並びにこれらの部分品及び附属品	465,000,487
第90類	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び附属品	455,379,714
第91類	時計及びその部分品	3,234,305
第92類	楽器並びにその部分品及び附属品	6,386,468
第20部	雑品	171,699,003
第94類	家具、寝具、マットレス、マットレスサポート、クッションその他これらに類する詰物をした物品並びにランプその他の照明器具（他の類に該当するものを除く。）及びイルミネーションサイン、発光ネームプレートその他これらに類する物品並びにプレハブ建築物	41,486,123
第95類	がん具、遊戯用具及び運動用具並びにこれらの部分品及び附属品	11,171,507

ロシア人が海外旅行をするの旅行手配の状況

58.8%のTOP-20諸国への旅行が代理店の経由で行われていた

海外渡航と海外旅行（2019年）

海外渡航の数 (除：ベラルーシ) 2019年	国の数	TOP-20諸国への旅行数	TOP-20諸国への旅行における代理店の割合	旅行代理店経由でのTOP-30諸国への旅行数
48,072,285	176	20,674,000	58.8%	12,200,000

出所) ツアーオペレーター協会

- ロシアのツアーオペレーター協会の統計によると、2019年にロシア人は176の外国を訪問し、海外渡航の数（ベラルーシを除く）は48,072,285回であった。（ベラルーシは国境の統計に出てこないのを除く）。これは、2018年（44,551,092）に比べて+7.9%増である。
- 58.8%のTOP-20諸国への旅行が代理店を通じて行われていた。

- 候補地域のなかで、クラスノダール地方は最も代理店（584）が多く、販売されたツアーパッケージの数も最大（162.4千）である。
- 旅行代理店経由でロシア国内ツアーに参加するロシア人観光客という指標でもクラスノダール地方がトップであり、その次はタタールスタン共和国である。
- 旅行代理店経由で海外ツアーに参加するロシア人観光客で1位を占めているのはタタールスタン共和国である。

各地域・ロシア全体旅行代理店とツアーパックの販売（2019年）

州・地方名	代理店数	ツアーパッケージ販売数	
		旅行代理店経由でロシア国内ツアーに参加するロシア人観光客（千人）	旅行代理店経由で海外ツアーに参加するロシア人観光客（千人）
タタールスタン共和国	481	156	145.1
クラスノダール地方	584	162.4	124.4
ロストフ州	315	100.4	130.3
ヴォロネジ州	126	14.5	29.7
ロシア全体	12,690	5,336.5	7,452.7

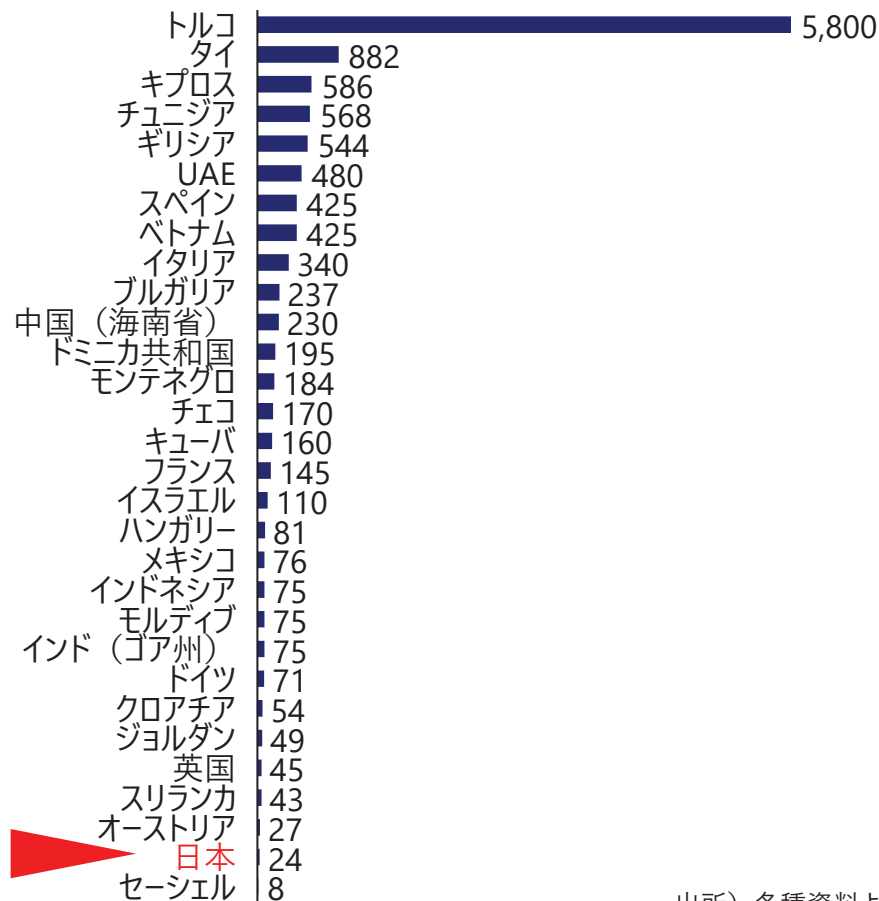
出所) ロシア連邦国家統計庁

ロシア人が海外旅行をするの旅行手配の状況

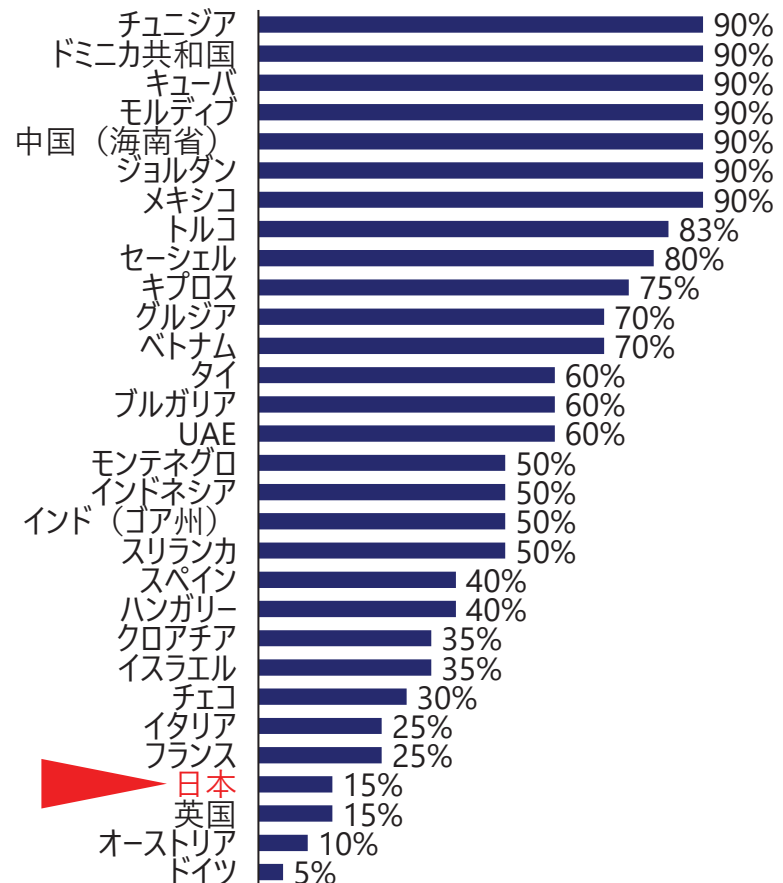
旅行代理店経由でのTOP-30諸国への旅行数は1220万（2019年）で、最も人気のある旅行先はトルコ。

■ ロシアは多くの国への渡航にビザが必要だが、トルコ、タイはビザが不要であるため旅行先として選ばれ易い。

代理店経由でのTOP-30海外旅行先・諸国への観光客数
(2019年：千人)



TOP-30諸国への旅行数における代理店の割合（2019年、%）



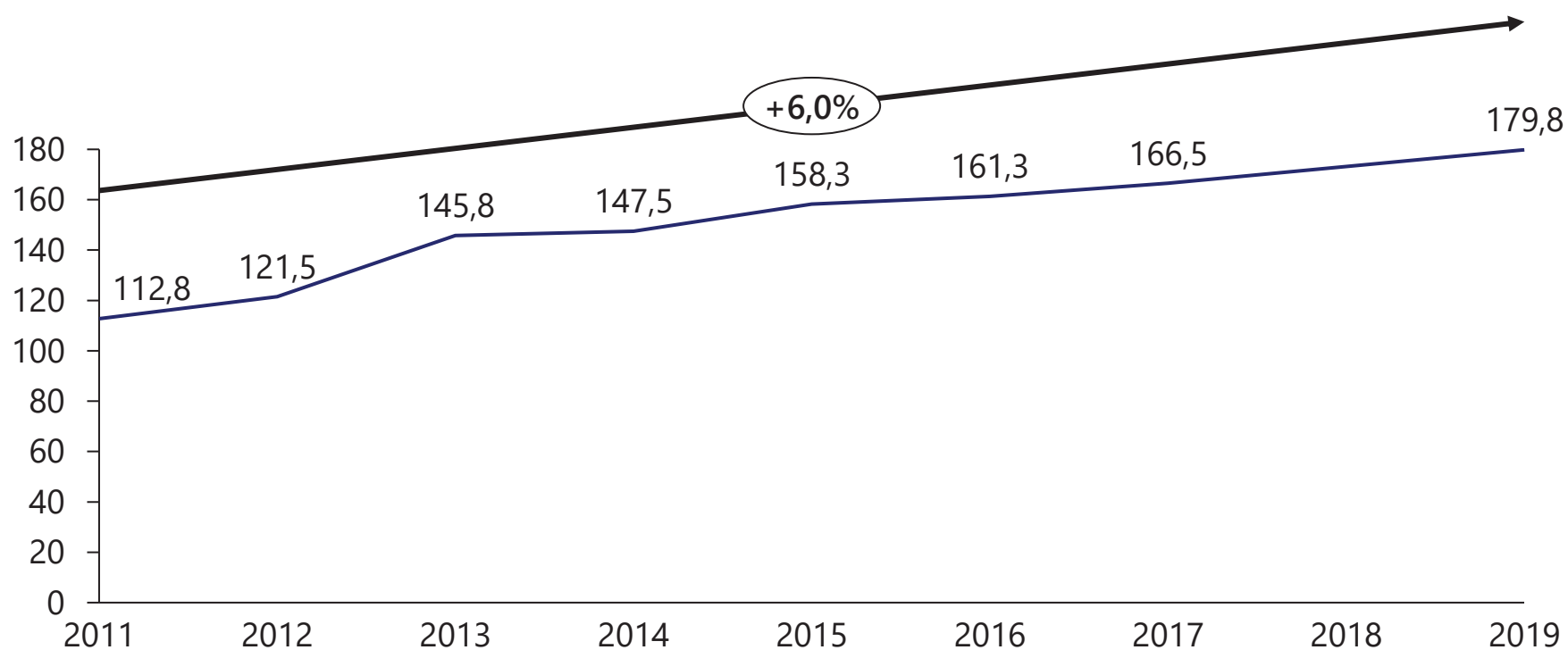
出所) 各種資料よりNRI

ロシア人が海外旅行をするの旅行手配の状況

2019年、ロシアにおける有料観光サービスの金額は1,798億RUBであった

- ロシア国民に提供される有料観光サービスが2011から2019年にかけて6 %程度で成長し、2019年に1,798億RUBに達した。

ロシア国民に提供される有料観光サービスの金額（10億ルーブル）

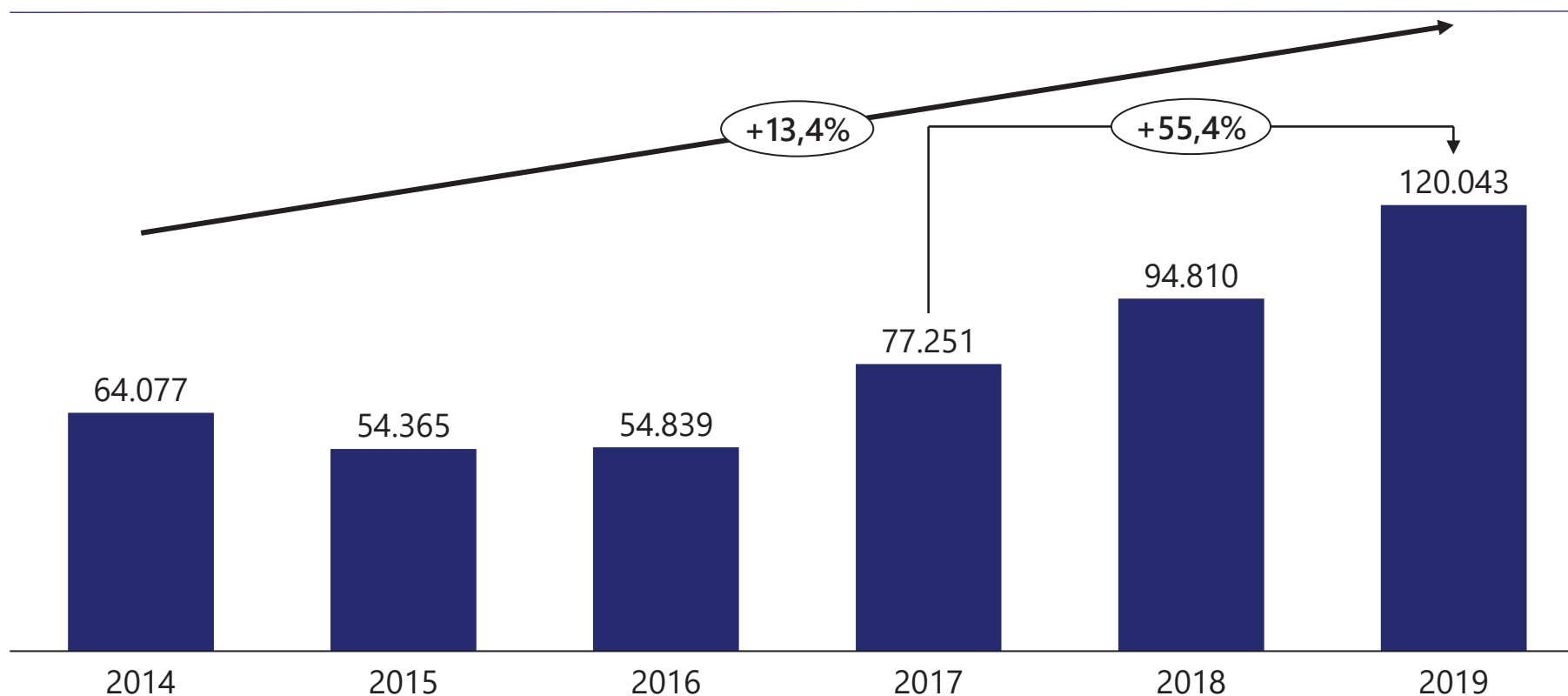


出所) 各種資料よりNRI

ロシアから日本への観光者数は2014年から2019年まで+13.4%の程度で成長

- 「観光分野における2017年から2019年までの期間の日本国観光庁とロシア連邦観光局との間の共同活動プログラム」の実施のため、2017年から2019年までロシア人観光客の数は+55.4%に増加し、約12万人に達成した。

訪日ロシア人観光客数（2014年～2019年）



出所) 訪日ラボ

ロシア国民の代理店やその他のサービスの利用

代理店手配での旅行について

- ロシア人は海外旅行や国内旅行をする際（特にTOP-20諸国への旅行の場合）、多くの場合、代理店手配を利用している。
- そのため、代理店・ツアーオペレーターに関連する有料観光サービス市場が成長している。
- 代理店手配では現在、代理店・ツアーオペレーターのサイトを使用し、ツアーパックなどを購入している。
- 最近では、ツアーパックの比較サイトの利用が拡大しており、そのサイトにおいては様々な代理店・ツアーオペレーターが提案するサービスやツアーパックを比較し、簡便に購入している。

その他のサービスを利用した旅行

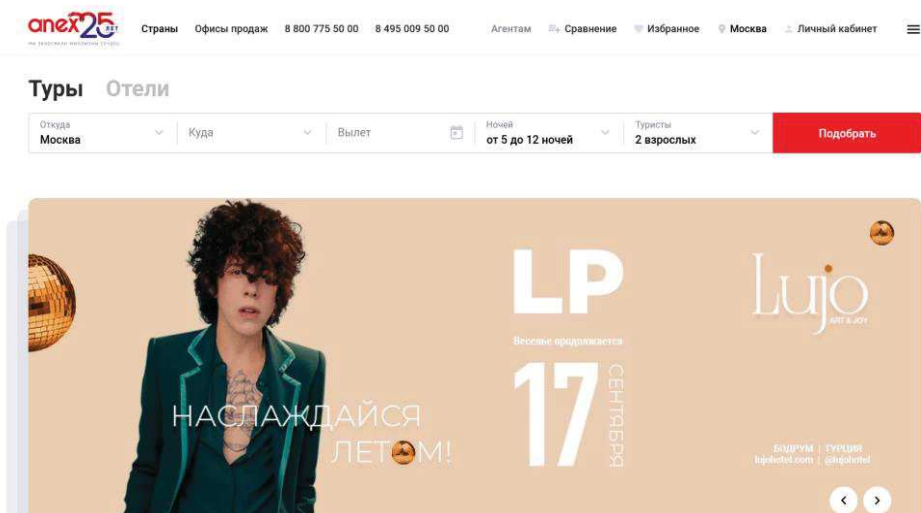
- ホテル予約や航空券を気軽に購入できることから、ロシア人はBooking.comやAviasalesなどのサービスを利用することも増加している。
- また、OneTwoTripやTripadvisorなどのサイトで観光スポットなどの情報を入手し、旅行先を決めている。

ロシアにおいてAnexTourというツアーオペレーターは最もポピュラー

- ロシア人は海外旅行へ行く際、代理店並びに、ツアーオペレーターが提案しているツアーパックを検討し、旅行先などを決定している。
- ツアーオペレーターのなかで人気のあるサービスはAnexTourやBiblio GlobusやCoral Travelなどで、外国企業も多い。

ツアーオペレーター	ロシア進出年、 設立年	ウェブサイト
AnexTour	1996	https://www.anextour.com/
Biblio Globus	1994	https://www.bgoperator.ru/
Coral Travel	1995	https://www.coral.ru/
Sunmar	2005	https://www.sunmar.ru/
Pegas Touristik	1994	https://pegast.ru/
Tez Tour	1994	https://www.tez-tour.com/
ICS Travel Group	1992	https://www.icstrvl.ru/index.html
NTK-Intourist	1929	https://intourist.ru/
TUI Russia	2009	https://www.tui.ru/

AnexTourの公式サイト



出所) <https://www.anextour.com/>

出所) 各種資料よりNRI

- AnexTourは1996年にロシアで事業を開始し、現時点ではウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、ドイツでビジネスを行っている。
- AnexTourは日本を含む51か国のツアーパックを提案している。

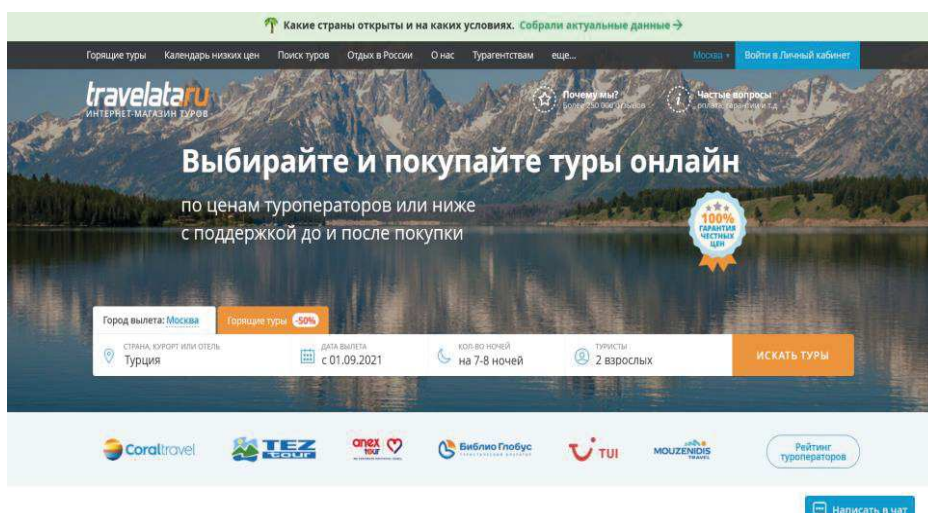
ロシア国民はツアーパックの比較サイトの利用が拡大している

- ロシア国民は海外旅行を検討する際、様々な代理店が提案しているパッケージツアーを専用のオンラインサービスで比較している。そのなかで、Travelata、Sletat.ruや1001turなどのサービスが頻繁に使われている。

サービス名	ウェブサイト
Travelata	https://travelata.ru/
SLETAT.RU	https://sletat.ru/
1001tur	https://www.1001tur.ru/
Onlinetours	https://www.onlinetours.ru
Level Travel	https://level.travel/

出所) 各種資料よりNRI

Travelataの公式サイト



出所) <https://travelata.ru/>

- Travelataでは120のツアーオペレーターが提案しているパッケージを比較できる。
- Travelataでパッケージツアーを購入できる。さらに保険などのサービスも提案されている。

旅行情報媒体

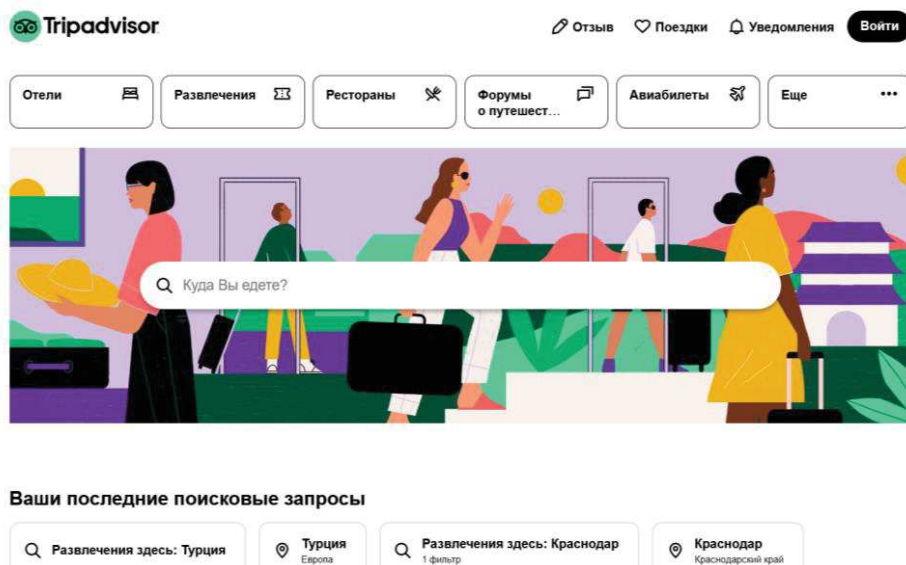
OneTwoTripやTripadvisorは観光スポットなどの情報を収集できるサービスとしてよく使用されている。

- ロシア国民は旅行先の観光スポット、レストランやカフェをOneTwoTripやTripadvisorなどのサービスを使って探索している。

サービス名	ウェブサイト
OneTwoTrip	https://www.onetwotrip.com/
Tripadvisor	https://www.tripadvisor.ru/
Howtrip	https://howtrip.ru/
Tripster	https://tripster.ru/

出所) 各種資料よりNRI

Tripadvisorの公式サイト



- Tripadvisorは旅行に関する様々な情報提供を行う、オンライン旅行代理店。
- このプラットフォームでは、観光スポット、レストランやカフェなどの検索ができる他、ホテル予約や航空券などを購入できる。

出所) <https://www.tripadvisor.ru/>

旅行情報媒体

ロシアにおいてBooking.comやAviasalesは、ホテル予約と航空券購入の際によく利用されている

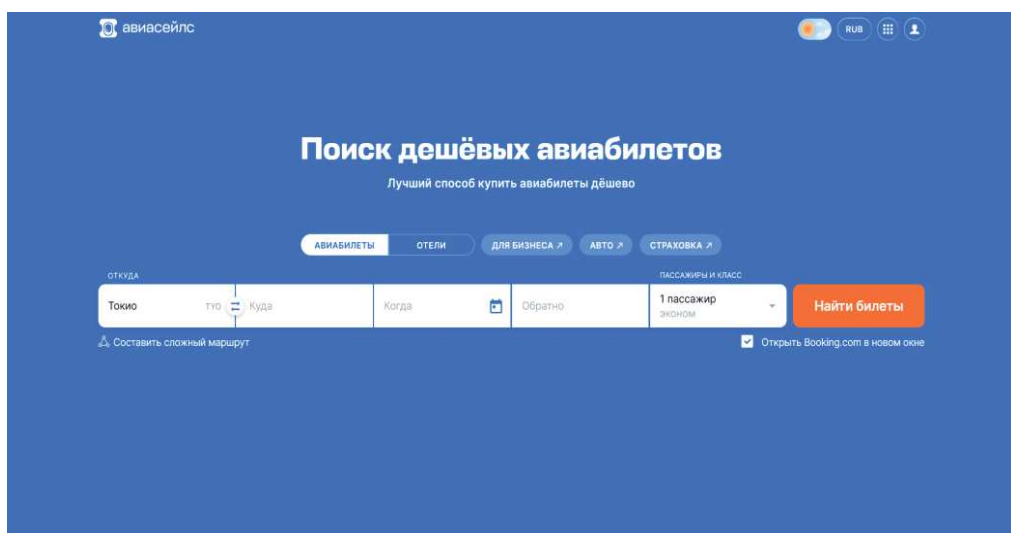
- ホテル予約の際、頻繁に使用されているサービスはBooking.com、AirbnbやHotels.comなどのサービスである。
- 航空券購入の際、ロシア人は航空券の価格を比較できるサービスを使用している。そのなかで、AviasalesとSkyscannerが最も人気がある。さらに、このサービスでは航空券のみならず、ホテル予約やカーシェアリングや保険の購入などができる。

サービス名	ウェブサイト
ホテル予約のサービス	
Booking	https://www.booking.com/
Airbnb	https://www.airbnb.ru/
Hotels	https://ru.hotels.com/
Ostrovok	https://ostrovok.ru
Trivago	https://www.trivago.ru/
航空券の購入サービス	
Aviasales	https://www.aviasales.ru/
Skyscanner	https://www.skyscanner.ru/
Tutu.ru	https://avia.tutu.ru/
Yandex	https://travel.yandex.ru/
Ozon	https://www.ozon.ru/travel/flight/

出所) 各種資料よりNRI

- Aviasalesは2007年に安価な航空券の検索サービスとして事業を開始した。
- 現在Aviasalesでは、航空券のみならず、ホテル予約やカーシェアリング、保険などのサービスが提供されている。
- 毎月の利用者数は1,500,000人（ロシア在住者の利用者数）である。

Aviasalesの公式サイト



出所) <https://www.aviasales.ru/>